

本ガイドラインは今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況や
明らかになる情報により、変更となる可能性があります。



新型コロナウイルス対策ガイドライン

第 12 版
(2021 年 10 月 4 日 更新)



監修：演出機関（キングス・カレッジ・ロンドン）、林 達樹（電通総合編訳）、監修（国立国際医療研究センター）、久保菜二（ナビタスクリニック）、監製：数研興産（Bowlographics inc.）、デザイン・イラスト：©V.LEAGUE

一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

目次

0 章 はじめに	4
1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報	5
1. 新型コロナウイルス感染症の感染経路	5
2. 変異によって新型コロナウイルスの感染力は増強：特にデルタ変異株の場合	6
3. 新型コロナウイルスの感染を促進する要因	7
4. 感染のリスクが高まる環境・状況	8
5. 遵守しなければならない感染対策	8
6. 感染リスクが高まる5つの場面	11
2 章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針	13
1. 基本方針	13
2. 用語の定義	14
3. 大会の開催方針	15
【参考】イベント開催制限の目安（政府方針）	16
3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策	17
1. チーム関係者（選手・スタッフ含む）に求められる感染予防策	17
2. Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフに求められる感染予防策	21
3. 出場資格に関わる SARS-CoV-2 スクリーニング検査について	22
4. 感染の疑いが出た際の対応	23
5. 感染者が出た際の対応(新型コロナウイルス対策に関する規程第10条)・・・改定審議中	25
6. 保健所及び医療機関と連絡が取れないタイミングでの疑い症状への対応	26
7. 情報の共有・発表について	29
4 章 入場者制限付き開催について	33
1. 入場者制限付き開催の考え方	33
2. チケット販売の考え方	33
3. 例外適用：2021年2月末までの収容率緩和に関わる対応に関して	36
4. アリーナのゾーニングの考え方	38
5. 会場運営	39
6. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について	45
7. 競技について	47
8. ファン・チームサポーターへの対応	53

目次

9. 報道関係者・中継制作等の対応.....	54
10. 試合会場の設営及び撤去	60
11. 大会前後の行動管理.....	61
5 章 リモートマッチの開催について.....	62
1. リモートマッチの考え方	62
2. アリーナのゾーニング	62
3. 会場運営	64
4. チーム及び派遣役員（JURY・V レフェリー）について.....	66
5. 競技について.....	68
6. アリーナ外でのファン・サポーターの集結を防ぐ.....	72
7. 報道関係者・中継制作等の対応.....	73
8. 試合会場の設営及び撤去	78
6 章 別紙資料・参考資料	79
更新履歴	83

0章 はじめに

新型コロナウイルス感染症に罹災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、全国の医療従事者の方々に感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大状況は現在も刻々と変化しており、今もなお、先行きが不透明な状況が続いております。そのような状況下で V.LEAGUE を開催するためには、十分な感染拡大防止策を講じた上で試合を運営する必要があります。一般社団法人日本バレーボールリーグ機構では、新型コロナウイルス対策に関する規程と新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定を行いました。

本ガイドラインは、Vリーグ機構が新型コロナウイルスの影響下で定款第3条の[目的]に則して事業を行うため、また V.LEAGUE の全ての関係者、ファンの皆さまが安心・安全な状態で試合に参加・ご来場いただくために、専門家の監修を受け、対策指針を示したものです。Vリーグ機構に関わる者は、本ガイドラインと最新の情報を常に取り入れ、柔軟性を持って感染拡大対策に努めなければなりません。

大会関係者におかれましては、大会運営上、必ずしも本ガイドラインの通りの運営を行うことができないケースが出てくるかと思います。その際には、「なぜ、このような対応が必要か」という部分をご理解いただいた上で、趣旨に沿って代替の方法をとっていただくようお願いいたします。また、運用の中でホームチームの責任下でガイドラインとは異なる対応を取らざるを得ないケースがあることも理解をしておりますが、そのような場合においても、Vリーグの全ての関係者、ファンの皆さまの安心・安全を第一に考えていただいた上でのご判断をお願いいたします。

新型コロナウイルスを取り巻く状況は日々刻々と変化しておりますので、本ガイドラインについても最新の社会状況や医学的知見を踏まえ、必要に応じて内容の変更をおこなってまいります。更新される最新のガイドラインをご確認いただき、感染拡大防止を行った上での大会開催にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

1. 新型コロナウイルス感染症の感染経路

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の感染は以下の2つの経路で生じることが知られています。

（1）飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）

通常の風邪やインフルエンザのように、咳やくしゃみによりウイルスが排出され、それを吸入することにより感染が生じます。特に新型コロナウイルス感染症では、濃厚接触状態（手が届く範囲）における“おしゃべり”でも感染が広がる可能性があることが重要です。

（2）接触感染（手で触れることによる感染）

人が物品表面を介し SARS-CoV-2 に感染することはあり得ます。しかしながら、入手可能な疫学データならびに環境感染因子に基づくと、物品表面を介した感染は、SARS-CoV-2 の主要な感染経路ではなく、そのリスクは低いと考えられます。人が SARS-CoV-2 に感染する最も主要な様式は、感染力のあるウイルスを運ぶ飛沫に暴露されることです。ほとんどの状況において、消毒ではなく石鹸や洗剤を用いて物品表面を洗浄すれば、十分に感染リスクを減少させられます。物品表面を介した感染リスクは、常に正しくマスク着用すること、手指衛生の実践によって低減できます。

参考資料

- Meyerowitz EA, et al.: Ann Intern Med. 2020 Sep 17; M20-5008. doi.org/10.7326/M20-5008.
- Harvey AP, et al.: Environ. Sci. Technol. Lett. 2020 Dec 14. <https://doi.org/10.1021/acs.estlett.0c00875>
- Lewis D: Nature. 2021 Feb 04; 590:26-28.
- Accessed Aug 23, 2021.
- <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/more/science-and-research/surface-transmission.html>

1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

2. 変異によって新型コロナウイルスの感染力は増強：特にデルタ変異株の場合

SARS-CoV-2 に暴露されて感染が成立すると、通常、5～6 日間の潜伏期を経た後に症状が発現しますが、この段階では無症状であるのが特徴です。そして、発症（症状が出る）の 48 時間前から感染力が強くなり始め、発症前日にピークを迎え、ウイルス排出期間は 10 日以内であるのが一般的な経過です。一方で、全感染者のうち少なくとも“三分の一”程度が、一度も症状が現れずに経過する“無症状感染者”に該当しており、無症状でありながらも感染力を発揮することも判明しています。無症状であると感染者（発端患者）ばかりでなく周囲の人達もついつい油断してしまい、その帰結として、悪気なく周囲にウイルスがばらまかれ、周囲の人たちは無防備に暴露され二次感染者になってしまうのです。この“ステルス攻撃力”こそが、感染対策において極めて厄介な問題と言えます。

現在、世界中で猛威を振っているデルタ変異株の場合、感染力が大幅に増強されており、具体的には、感染力の立ち上がる速度が加速化され、そのピークが発症の 2.1 日前へと 1 日ほど前倒しになり、かつ吐き出されるウイルス量は非常に多く従来の 1260 倍にも達します。その結果、感染者は、症状が現れて自覚する前に、二次感染者の約 74% に伝播（うつす）してしまっており（ステルス攻撃力のパワーアップ）、発症後 4 日目には二次感染者の約 98% まで伝播を完了していることが明らかにされています。

本邦では、濃厚接触者の定義として、「感染者（確定例）の発症 2 日前から、手で触れることのできる距離（目安として 1 メートル）で、必要な感染予防策なしで、感染者と 15 分以上の接触があった者」との条件が現在も用いられていますが、デルタ変異株の場合、この条件では不十分なのは明白です。その理由として、①感染力の立ち上がる速度が加速化されているため、発症の 2 日以上前から感染力が高まり始めていること、②非常に大量のウイルスが吐き出されるが故に、連続 15 分以上ではなく短時間の接触でも感染成立レベルまで暴露されてしまう事態が十分にあり得ること、③感染爆発の状況下では、身近なところに“無症状デルタ変異株感染者”が複数潜んでいる可能性があるため、外出中マスクを外すのが 1 回あたり短時間でも、ウイルスに暴露される時間の累計が 15 分を越えるといった“分割濃厚接触”によって感染が成立してしまうケースも起こり得ること、の 3 点を想定しなければならないからです。米国疾病管理予防センター（CDC）はすでに濃厚接触者の定義を改定しており、接触時間の条件を“連続 15 分以上”ではなく“24 時間以内に累計 15 分以上”にしています。さらに、重要なポイントとして、ワクチン接種が完了したからといって油断大敵なのです。ワクチンの完全接種後（規定回数の接種完了後、14 日間以上が経過した状態）に、SARS-CoV-2 に感染することをブレイクスルー感染と呼びますが、デルタ変異株の場合、他の変異株に比べ、このブレイクスルー感染が多く、加えて、ワクチン接種後にもかかわらず、未接種のケースと同様に大量のウイルスを吐き出し、強い感染力を発揮する事実も報告されています。

参考資料

- Kang M, et al.: Preprint at medRxiv. 2021 Aug 13. <https://doi.org/10.1101/2021.08.12.21261991>
- He X, et al.: Nat Med. 2020 May;26:672-67.
- Li B, et al.: Preprint at medRxiv. 2021 Jul 12. doi: <https://doi.org/10.1101/2021.07.07.21260122>
- Accessed Aug 23, 2021. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/guidance-risk-assessment-hcp.html#print>
- Musser JM, et al.: Preprint at medRxiv. 2021 Aug 01. <https://doi.org/10.1101/2021.07.19.21260808>
- Riemersma KK, et al.: Preprint at medRxiv. 2021 Aug 11. <https://doi.org/10.1101/2021.07.31.21261387>

1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

3. 新型コロナウイルスの感染を促進する要因

新型コロナウイルスの感染伝播が起こりやすい原因として次の 3 要因が重要となります。

(1) 多くの方が集まる状況での濃厚接触（手が届く範囲での交流）

濃厚接触の定義における身体距離は、通常、“手の届く範囲”ということで理解されています。立食パーティーや対面での面談・食事なども濃厚接触になり、多数の人が多く集まる環境において感染のリスクが高まります。



(2) 手が届く範囲での咳・くしゃみ、おしゃべり、発声

咳やくしゃみに加えて、濃厚接触状態における“おしゃべりや発声”でも感染が広がる可能性が指摘されています。故に、会話時にもマスク着用が不可欠なのです。



(3) 換気の悪い密閉空間

咳やくしゃみ、おしゃべりなどにより排出された大きな粒子（しぶき）はすぐに地面に落ちますが、小さな粒子は短時間の間、空気中を浮遊することが考えられます。空気がよどみやすい空間、閉鎖された環境では、その粒子を吸い込んで感染する危険が高まります。

1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

4. 感染のリスクが高まる環境・状況

これまでに感染伝播が報告された代表的な環境・状況として以下があります。いずれも上記の 3 要因のいずれか、あるいは複数が関連しています。それ以外にも上記の 3 要因が重なる環境・状況では感染のリスクが高まると考えておかなければなりません。

ライブハウス/スポーツジム/飲食店等

上記に加えて、不特定多数の方が参加・観客となる環境：Vリーグを行うアリーナなどマスギャザリングでは屋内・屋外で感染症のリスクが高まると考えられます。

5. 遵守しなければならない感染対策

互いの身体距離を適正に保つとともに、以下の感染対策を日々実践することが基本になります。

(1) 正しいマスクを正しく着用する

飛沫感染が主要な感染経路です。エアロゾル（飛沫核）感染（別名：空気感染）も条件次第では起こり得ますが、正しいマスクの正しい着用が防御効果を発揮します（着用法は次頁を参照）。

正しいマスクとは：以下の条件を満たす“不織布マスク”

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 細菌濾過効率“BFE” $\geq 98\%$・ 微粒子濾過効率“PFE” $\geq 98\%$ | } 医療現場で使用されているマスク（所謂、サージカルマスク）の性能レベル 3 に相当します |
|--|---|

※ ウレタンマスクのご使用は原則禁止です。その理由として、ウレタン素材は、吐き出す飛沫量を 50%しか濾過できないばかりか（残り 50%はマスクの外に飛び出す）、吸い込む飛沫量を 30~40%しか濾過できないからです（残り 60~70%を吸い込む）。

(2) 手洗いの励行

物品表面を介した感染（接触感染）は、主たる感染経路ではなく、そのリスクは低率ないしは稀であることが判明しています。しかしながら、手洗いは、感染症全般に対する対策の“基本中の基本”なので重要です。ほとんどの状況において、消毒ではなく石鹸や洗剤を用いて物品表面を洗浄すれば、十分に感染リスクを低減できます。物品表面を介した感染リスクは、常に正しくマスク着用すること（効用：手指が口や鼻に直接接触するのを防ぐ）、手指衛生の実践によって低減できるのです（正しい手洗いは次頁を参照）。

(3) 口・鼻・目に不用意に触れない

マスクの着用により口・鼻に触れることはなくなりますが、目にも触れないよう心掛けてください。

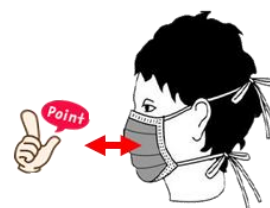
(4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事

感染対策、全ての健康の基本となります。

1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

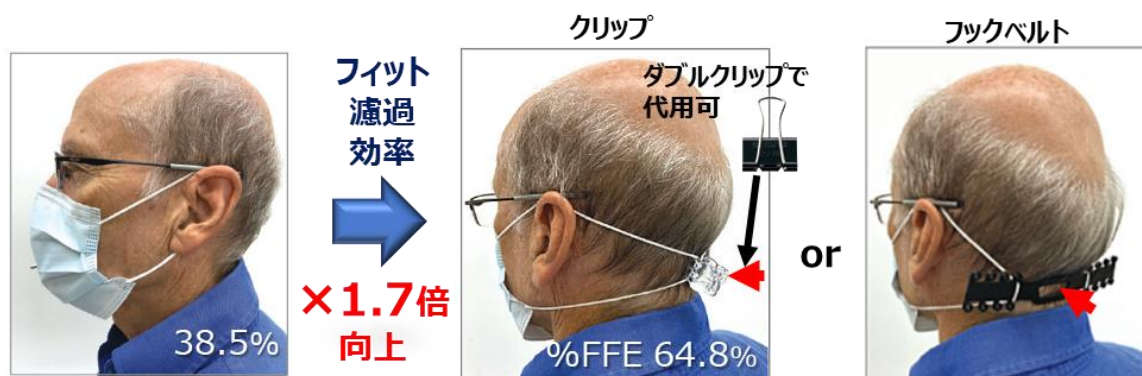
マスクの正しい着用法

1. 鼻、口、顎を覆う（特に鼻と口の両方を確実に）
2. 可変式の鼻部分を調整して鼻梁にフィットさせる
3. マスク全体が頬にしっかりとフィットするよう調節して、少し深めに呼吸すると、吸気と呼気（吸ったり吐いたり）に同期してマスクの中心部が前後することを確認

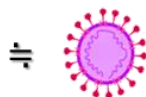


マスクの濾過効率を高める方法：空気感染予防に有効！

- マスク・ゴム紐用クリップまたはフックベルトの使用¹⁾



実験に使用したNaCl粒子飛沫核サイズ
直径 0.05μm



新型コロナウイルス粒子
直径 0.06μm

フィット・濾過効率 (fitted filtration efficiency: FFE) % =
(1 - マスク内部粒子濃度 / マスク外部粒子濃度) × 100 %

FFP参考値：N95マスク 98.4%，紐付きサージカルマスク 71.5%

- 米国疾病予防管理センター (Centers for Disease Control and Prevention: CDC) の推奨²⁾



動画YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=UANi8Cc71A0>

- 文献： 1. Clapp PW, et al.: JAMA Intern Med. 2021;181:32-40
2. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/your-health/effective-masks.html>

適正な手指衛生

アルコール消毒液による手指消毒

- 携帯用消毒ボトルを携帯していれば、時と場所を問わず実施可能です。
- アルコール濃度として60～70～80%が要求されます。
- 適量（目安1～3mL）の確認方法として、指間を含め両手全体に消毒液を塗り広げて、10～15秒間擦り合わせた時点で、手が乾いた感じであれば、塗布量が不十分であることが示唆されますので*、量を何度か調整することで“自分の手指消毒にとっての適量”を会得して下さい。



流水とハンドソープによる手指消毒

- 洗面所でなければ実施できない制約があります。
- 少なくとも15～20秒以上かけて洗って下さい。



動画YouTube



<https://www.youtube.com/embed/Eph4Jmz244A>

アルコール・ハンドソープ・洗濯洗剤は、新型コロナウイルスのエンベロープに含まれる脂質成分を溶かし、ウイルスを不活化（死滅）させます。



ウイルス付着が危惧される衣類・タオル・ハンカチは、洗濯洗剤による洗浄で十分

1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

6. 感染リスクが高まる5つの場面

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。

一方で、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられます。

新型コロナウイルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。

これまでのクラスター分析で得られた知見から、

- ✓ 感染リスクが高まる「5つの場面」
 - ✓ 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫
- が新型コロナウイルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。

(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室)



【場面1】飲酒を伴う懇親会等

- ✓ 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ✓ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ✓ また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。

<Vリーグチームの場合>

- ✓ チーム内/大会役員による懇親会など
- ✓ 練習時・試合時のドリンクの共用など



【場面2】大人数や長時間に及ぶ飲食

- ✓ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ✓ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

<Vリーグチームの場合>

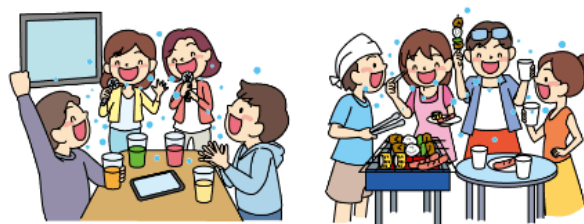
- ✓ 選手の遠征時・日常時の食堂での飲食⇒黙飲食の徹底
- ✓ ミーティング時は飲食を伴いませんが、大人数で長時間集まることはリスクがあります



1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

【場面 3】マスクなしでの会話

- ✓ マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ✓ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ✓ 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

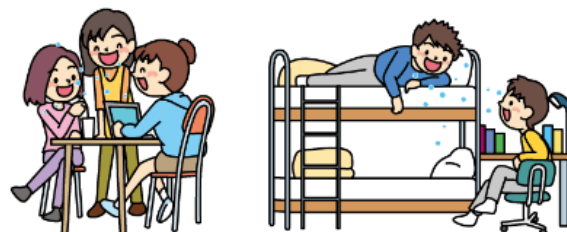


<Vリーグチームの場合>

- ✓ 練習時・ミーティング時
- ✓ 遠征の際のバス等での移動時

【場面 4】狭い空間での共同生活

- ✓ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ✓ 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

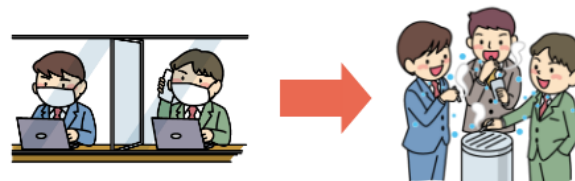


<Vリーグチームの場合>

- ✓ 寮での共同生活、クラブハウス、練習アリーナでの共有スペース、ロッカールーム
- ✓ 遠征時のホテル

【場面 5】居場所の切り替わり

- ✓ 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ✓ 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



<Vリーグチームの場合>

- ✓ クラブハウス、練習アリーナでの共有スペース、シャワールーム
- ✓ 遠征時のホテル

強力な感染力を有するデルタ変異株が蔓延しているため、公共の場においては、マスク着用なしでの会話はすべて禁止にせざるを得ません。

注) 本指針は、ワクチン接種の普及状況、ウイルス変異によるワクチン有効率の変化等を考量した上で、適宜、更新する予定です。

2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

1. 基本方針

Vリーグ機構に関わる全ての関係者（チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ）は本ガイドライン及び基本方針を理解し、Vリーグ大会に関わるすべての関係者に共有することが重要となります。

- ① 政府の指針に従い感染拡大防止に協力する。
- ② Vリーグ機構事業の目的の実現は、国民の健康のもとに成り立つことを再認識し、Vリーグ機構に関わるすべての関係者は感染拡大防止に努める。
- ③ チーム関係者は常に感染防止と自己管理に努め、自身に関わる全てのチーム関係者の管理も行う。Vリーグ機構役員、大会関係スタッフについては、当該担当者が所属する関係各社が管理を行う。
- ④ 発症・感染拡大の原因となった場合には、自身だけでなくチームメートの出場機会を奪うだけではなく、大会そのものの中止にまで発展する恐れがあります。その場合、開催地バレーボール協会やホームチーム、大会関係者、そして試合を楽しみに足を運んでくださるファンの皆さまにまで多大なるご迷惑をおかけするということを認識する必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策は、個人防衛、集団防衛、社会防衛の3つの見地から考える必要があります。何よりも重要なのは、チーム関係者及び大会関係スタッフが、発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら休む勇気を持つこと、お客様も観戦にあたっては発熱・咳・倦怠感などの症状を認めた場合にはアリーナに行かないという文化を醸成することです。

日本バレーボールリーグ機構は、“選手・コーチ・監督・スタッフを守る、観客を守る、選手・コーチ・監督・スタッフ、観客が感染クラスターになることを防ぐ、日本のスポーツ文化を守る”という視点から、新型コロナウイルス感染症に対する対策・対応を考えていくことが重要であると考えています。

2 章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

2. 用語の定義

本ガイドラインでは下記の通り用語を定義する。

一斉中止	開催地域、カテゴリーに関わらず、当該期間に開催するすべてのVリーグ主催大会を中止することをいう。
限定的中止	特定のカテゴリーや特定の開催地域に限定してVリーグ機構主催大会を中止することをいう。
リモートマッチ	一般入場者の入場を禁止して、Vリーグ機構主催大会を開催することをいう。尚、報道関係者については入場を認める。
チーム関係者	選手、監督、コーチ、マネージャー、トレーナーなどチームスタッフに加えその家族など選手・スタッフと日常生活に於いて、濃厚接触する可能性のある方をいう。
Vリーグ機構役員	Vリーグ機構理事・監事、事務局職員、派遣役員（JURY、Vレフェリー、オフィシャルカメラマンほか）とその家族のことをいう。
大会関係スタッフ	大会役員、外部協力社のうちVリーグ大会に関わるスタッフのことをいう。
濃厚接触	必要な感染予防策をせずに患者（確定例）に接触すること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度）においてマスクを着用せず24時間で合計15分以上接触があった場合や、患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者をいう。
クラスター	当面の間、接触歴が明らかとなる5名以上の新型コロナウイルス感染者が発生した場合をいう。
発症日	最初に症状（発熱、咳、だるさ、味覚異常、嗅覚異常）が観察された日のことをいう

2 章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

3. 大会の開催方針

(1) 新型コロナウイルスの影響を考慮した段階的開催方針

Vリーグ機構では新型コロナウイルスの感染拡大状況に合わせて、大会開催方針として4つのフェーズを設定しました。

Phase	内容
Phase 1	入場制限を行わずに興行を行うことができる状況
Phase 2	客席の密を避けるために集客率 50%（仮）を上限とした入場制限を設けて興行を行う状況
Phase 3	リモートマッチでしか興行を行えない状況
Phase 4	大会を中止とせざるを得ない状況

(2) 2021-22 シーズンの開催方針

2021-22 V.LEAGUE は「Phase2」で開幕することを前提に、準備を行っております。尚、入場者数の制限方針については政府の方針に従って決定します。また、Phase2 の開催においては十分な感染拡大対策を行う必要があります。

大会開催方針については、刻々と変化する新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて次の指針に基づいて決定していきます。

① 政府及び自治体の方針

緊急事態宣言の発令の有無、特定警戒区域発令の有無、
都道府県をまたぐ移動の可否 など

② 大会開催地域及びチームホームタウンの自治体の状況

③ チーム関係者の状況

④ 他のスポーツの状況

本ガイドライン発行後に、新型コロナウイルスが終息し、政府見解含めて感染拡大のリスクが無いことが確認された際には速やか、Phase 1 に移行し、本ガイドラインで規制した事項についても、その一部を解除します。しかし、新型コロナウイルス感染が拡大した場合には、Phase3 に移行し全会場一斉にリモートマッチでの開催を余技なくされるケースや②や③の状況により限定的にリモートマッチの開催や限定的中止を決定する場合があります。（別途定める『新型コロナウイルス対策に関する規程』参照）

2 章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

【参考】イベント開催制限の目安（政府方針）

感染状況に応じたイベント開催制限等について（9/28～の取扱い）

【別紙1】

	収容率※4	人数上限※4	営業時間短縮※4
緊急事態措置区域	50%	5,000人	21時まで
まん延防止等重点措置	大声なし※1 100%以内 大声あり※2 50%以内	（まん延防止等重点措置の都道府県） 5,000人	都道府県の判断
緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置解除後の経過措置（約1か月）		5,000人 又は 収容定員50%以内（≦10,000人） のいずれか大きい方 注：大規模施設の実証調査を実施。実証開始前10,000人→実証時20,000人に緩和。	
その他都道府県※3		5,000人 又は 収容定員50%以内 のいずれか大きい方	なし

※1 大声での歓声、声援等がないことを前提とする場合。この判断は、実態に照らして、個別具体的に判断。この場合、収容定員5,000人までの施設については、満席とすることが可能となる。

※2 大声での歓声、声援等が想定される場合等。異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る。）内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

※3 施設の使用制限は、収容率要件など、必要な感染防止策を働かせる（人数上限なし）。

※4 収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）。また、ワクチン・検査パッケージ等に関する技術実証の枠組みの下で、行動制限の緩和を実施。

<参考>

- 新型コロナウイルス感染症対策推進室（内閣官房）

<https://corona.go.jp/news>

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

1. チーム関係者（選手・スタッフ含む）に求められる感染予防策

(1) 新型コロナ対策責任者の任命

選手及びチーム関係者特有の新型コロナウイルス感染リスク要因として以下の事項があげられます

- ✓ 人ごみの中でのファンサービス
- ✓ 過酷なトレーニングと緊張
- ✓ 食事、体重、スケジュールなどの管理
- ✓ 集団での移動（飛行機、バスなど）

チーム関係者の皆さまは一般の方以上に新型コロナウイルスへの感染リスクがあることを自覚いただき、感染防止に努めてください。

各チームはチーム内での新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、新型コロナウイルス対策責任者（1名＝以下、対策責任者と表記）を任命してください。対策責任者はチームドクターやトレーナーと連携して、チーム内の感染拡大予防に努めてください。対策責任者の名前はリーグに届け出てください。

(2) 医療機関との日常的なコミュニケーション

チームはチーム関係者に不測の事態の際の相談窓口となっただけのよう、日常的に医療機関とのコミュニケーションを図っていただき、新型コロナウイルスの疑いが出た際に適切な助言や相談ができる環境を予め整えておいてください。

(3) 健康状態のモニタリングと感染拡大予防

① 毎日の健康チェックと行動記録

対策責任者はVリーグ登録選手及びスタッフの毎日の健康チェックと行動記録を必ず実施してください。

行動記録のモニタリングは、万が一、チーム内で感染者・濃厚接触者が発生した際にどの範囲で隔離を行うかの判断を行う上で重要な資料となります。必ず実施してください。（健康チェックシートは別紙資料を参照ください）

体温測定	起床直後・就寝前など決まった時間での体温測定
問診表チェック	発熱・咳・咽頭痛・だるさ・倦怠感・食欲低下・味覚障害・嗅覚障害の有無
行動記録	買い物・食事・トレーニング等に出向いた場所・同行者などの記録

② 手指衛生の励行

適切な手指衛生を参照して正しく実践してください（手指消毒、手洗いの方法は対策責任者が指導していただくをお願いします）。

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

③ できるだけ人ごみを避ける

可能な限り人混みを避け、外出の際には必ず正しくマスクを着用してください。

(4) チーム練習場・クラブハウス・寮などでの感染予防策

対策責任者は医療機関の指示のもとトレーナーやドクターとも連携し、練習場、クラブハウス、アリーナなど、チーム関係者が主に使用する施設の感染拡大予防に努めてください。

① 施設の空調・換気状態の把握と可能な対策

- ☐ アリーナや諸室の空調・換気の状態の把握と給気能力の増強や加湿
(乾燥する場面では、湿度 40%以上を目安に加湿することを推奨)
- ☐ 空気の流れを最小限とするよう換気・空調システムの見直し
- ☐ 窓を開けるなど定期的な空気の入替
- ☐ 必要に応じ、CO2 測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし二酸化炭素濃度 1000ppm 以下を維持することも望ましい。(※機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。)

② 手指消毒液の設置

- ☐ 練習場の入口及び諸室へ設置する。
- ☐ クラブハウス、寮などの共有スペース及びトイレ等への設置
- ☐ マスクや手袋を脱いだ後は、手指衛生（手洗いまたはアルコール消毒）を行ってください。

③ ロッカー室・シャワー室、ベンチ・トイレなどでの濃厚接触の回避

- ☐ ロッカー室・シャワー室等の使用は時間差利用、可能な限り 1.5～2m 以上のヒト-ヒト間隔がとれるよう配慮するなどの空間遮断などを行った上で使用する
- ☐ 感染リスクを下げるため、チームを守るために、ポジションが同じ選手が可能な限り行動を共にしないなどの工夫は有効となる可能性がある
- ☐ タオルなどのリネンの共用は避ける。トイレなどの手ふきはペーパータオルを使用する

④ 練習前後のミーティング

- ☐ WEB ミーティングで行い、対面での実施を避けることを推奨する
- ☐ 対面で実施する場合は、短時間で実施。屋外や換気のいい場所で行い、身体的距離（フィジカルディスタンス/以下、「身体的距離」と表記）をとる

⑤ 選手の治療およびマッサージ

- ☐ トレーナーはマスク着用・手指衛生（手洗いでも可、手袋不要）の予防策をとった上で対応する
- ☐ 外傷処置を行う場合は手指アルコール消毒・マスク/手袋着用（自身を守る）を実施し対応する

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

⑥ ジムの使用

- ☐ 身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を確保する
- ☐ 身体接触を伴う、または対面での補助は行わない

⑦ ボール等用具の消毒

- ☐ ボールや使用した用具は必要に応じて消毒を行ってください。

⑧ 取材対応

リーグ開幕前から入場者制限付き開催の期間に、チーム練習場等の試合会場以外で報道関係者による取材を認める場合、下記の対応を行ってください。テレビ局等の報道関係者が指定した場所で取材が行われる場合は、報道関係者と調整し対応を行っていただくよう努めてください。

- ☐ 入館時には手指の消毒を行い、常時マスクを着用する。
- ☐ 選手・チームスタッフと、報道関係者の動線を分ける。
- ☐ オンライン取材を推奨、または取材場所をアリーナ等の広い場所に限定し、常に身体的距離（2m、最低でも 1m）をとる。
- ☐ 取材者とその家族・同居者が、直近 14 日間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚や嗅覚の異常）を起こしていないことについての宣誓と、緊急時の連絡先を記載した書面を提出いただく。
- ☐ 選手との接触前に体温を測定し、37.5 度以上の場合（37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む）は退去していただく。

⑨ ゴミなどの廃棄について

- ☐ 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってください。
- ☐ ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(5) チームの移動及び宿泊

遠征時のチームの移動及び宿泊については、各チームの事情を勘案し、チームに対応をお任せすることになりますが、可能な限り以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

① 航空機及び新幹線での移動

航空機も新幹線も定期的に空気が入れ替わる仕組みとなっており、換気のよい空間になります。但し、指定席予約の際には座席指定サービスを利用の上、可能な限り密集を防ぐことが可能な座席の予約をお願いします。

<参考>

- 全日本空輸株式会社 ANA care Promise
<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/coronavirus-travel-information/>
- JR 東海「新型コロナウイルス感染症に対する取り組み」
https://jr-central.co.jp/notice/detail/_pdf/000040501.pdf

② バスによる長距離移動

a) バス会社への事前の依頼事項

- ☐ 運転手の体調管理及び正しいマスクの正しい着用

b) その他の注意事項

- ☐ バス内では正しいマスクを正しく着用してください
- ☐ サービスエリアでの休憩時もマスクを着用し、感染予防を行ってください
- ☐ 大声や長時間の会話を控えてください

③ 遠征時の宿泊について

宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫してください

a) 宿泊施設での注意事項

- ☐ 食事会場はチーム専用を検討してください
- ☐ チームが訪れる各所に消毒液の設置を依頼してください
 - ✓ 食事会場
 - ✓ マッサージルーム
 - ✓ ミーティングルーム
 - ✓ 廊下
- ☐ 自室以外では正しいマスクを正しく着用してください
- ☐ ホテルのサウナ、フィットネスルーム、バーなどに立ち入らないようにしてください
- ☐ 部屋割りは原則、一人一部屋とし、部屋間の往来を禁止してください。
- ☐ 部屋の換気をよくしてください

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

b) マッサージルームでの注意事項

- ☐ 室内では混雑させないように留意してください。また、換気をよくしてください
- ☐ 順番が来るまで室内に立ち入らないようにしてください。
- ☐ 正しいマスクを正しく着用して、感染予防を徹底してください。
- ☐ トレーナーはマスク、手指消毒などの予防策をとって対応してください。

c) 食事会場

- ☐ 食事中は黙飲食を徹底し、会話時は必ずマスクを着用してください。
- ☐ 向かい合わせの配席は不可です。向かい合わせになってしまう場合は、1.5m～2mの距離を空けてください。
- ✓ 十分に広い部屋が無い場合は、グループ分けを行い食事時間をずらしてください
- ☐ 食事中、宿泊施設の方は部屋にいないようにします。片付けはチームが退出した後に行います。
- ☐ ビュッフェ形式の場合、トングを使用する前後では、各自がエチケットとして携帯用アルコール消毒を用いて手指衛生を行ってください。（この際も正しいマスクを正しく着用すること）

d) ミーティングルームの利用

- ☐ 可能な限りWEB会議形式にて行ってください。
- ☐ 対面で実施する場合は、全員が正しいマスクを正しく着用するとともに、部屋の換気に留意してください（二酸化炭素濃度測定器にてモニタリングし、1000ppm以下が維持できていることを確認：超えた場合、ドア・窓等を開放し十分に換気を行う）。監督、コーチ選手が身体的距離（2m、最低1m）をとって着席してください。

2. Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフに求められる感染予防策

Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフに求められる感染予防策はチーム関係者に求められる感染予防策と同様です。特に、Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフの方々は、それぞれ、職場も異なることから高い意識を持って、自己防衛していただくことが求められます。また、日常的によく接する方、特にご家族の方には皆さんと同様の感染予防策を講じていただくことが重要となります。

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

3. 出場資格に関わる SARS-CoV-2 スクリーニング検査について

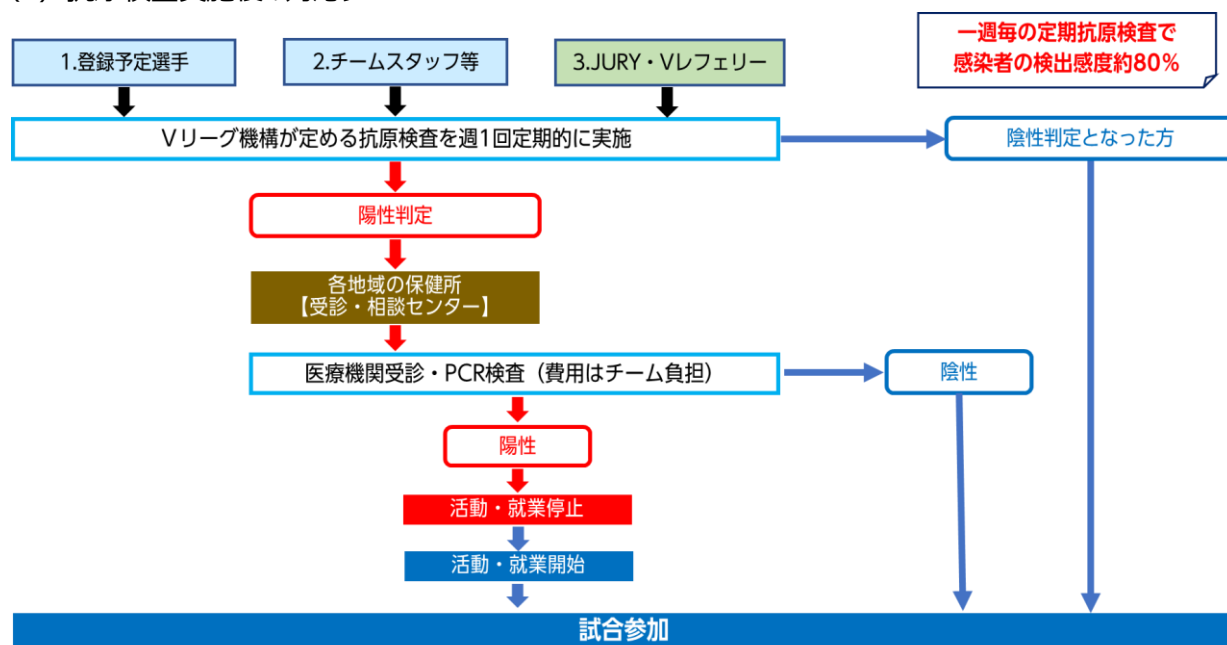
新型コロナウイルス対策に関する規程第8条第4項の定めにより、Vリーグ機構登録スタッフ・選手及び派遣役員（JURY、Vレフェリー）には2021-22シーズン開幕前及び開幕後、週1回の頻度でVリーグ機構が指定する方法にて迅速抗原定性検査（以下、抗原検査）を受けていただき、陰性が確認された方のみ、試合にエントリーすることが可能となります。

定期抗原検査の実施日及び実施方法については別途ご連絡いたします。

大会運営スタッフの非感染検査の実施については、受診いただくことを推奨しますが必須とはいたしません（大会運営スタッフの方の受診費用については、各所属先でご負担いただくようお願いいたします）。

Vリーグ機構が指定して行う抗原検査の結果により求められる対応は次の通りとなります。

(1) 抗原検査実施後の対応フロー



(2) Vリーグ機構が行う定期抗原検査の実施結果にて陽性を示した場合の対応

① チーム関係者（選手、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー、家族等）の初動について

抗原検査の結果を保健所に報告し、保健所の指示に従ってください。スクリーニングとしての抗原検査において陽性になった場合、PCR検査が必要になります（症状があり、抗原検査陽性の場合には、PCR検査を割愛できます）。

※ 自治体の保健所によっては医療機関の診断が無いと対応していただけないケースがございます。

かかりつけ医がある場合は、まずは、かかりつけ医に相談してください。専門の医療機関への相談を希望する場合は下記を参照ください。

【第二種感染症指定医療機関の病院】

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou15/02-02-01.html>

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

- ※ チームドクターなどに相談の上、速やかに診療・検査を受けられる医療機関を案内してもらうようにしてください（検査結果に関わらず、発熱、咳などの風邪の症状がみられる場合も同様です）。
- ② 相談する医療機関に迷わないようにするために
「受診・相談センター」に電話相談ができるようにすること。
 - ※ 各地域における医療機関・新型コロナ受診相談窓口等の受付時間、電話番号等は事前に確認しておくことが望ましい。その上で、速やかに診療・検査が可能な医療機関を案内してもらうようにすること
 - ※ 休日・夜間等の対応においても、電話番号等を確認しておくこと
- ③ 医療機関における診療・検査の結果において陽性者と診断された場合
陽性者が確認された場合は、速やかにVリーグ機構に報告する。
 - ✓ 陽性者本人 → 保健所・医療機関の指示に従い、入院もしくは自宅待機を行うこと
 - ✓ その他の選手及びチーム関係者 → 3章-5. ②を参照
 - ✓ 濃厚接触者となった場合 → 保健所の指示を仰ぎ、
必要の場合は医療機関における診療及び検査を受ける。
- ④ 陽性判定が出た後の療養期間について
保健所・医療機関の指示に従う。

4. 感染の疑いが出た際の対応

新型コロナウイルスへの感染及び濃厚接触が疑われる場合は、当該発症者は検査結果が出るまでは感染拡大防止のために、チーム及び所属組織から離脱し（遠征中の場合は即時帰宅）、自宅待機することを原則とします。但し、遠距離の遠征先の場合、保健所や医療機関とも相談の上、場合によっては現地にて対応してください。

(1) 発症前に他人を感染させる可能性

新型コロナウイルスは潜伏期間（発症の2～3日前）から他人に感染させる可能性があることが知られています。その期間に濃厚接触のあった方は、隔離の対象となります。

(2) 感染して発症するまでの潜伏期間

感染してから発症するまでの潜伏期間は1日～14日（平均5日）です。感染源を探す際、14日間の行動（対人接触）をさかのぼってモニターすることになります。

(3) 発症後、症状が持続せず、新型コロナウイルスに感染していないと推定される場合

発症日から7日間の隔離後、かつ解熱および症状消失後に3日間経過後、平常復帰することが推奨されます。

3 章 V リーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(4) 感染の疑いのある症状が出た際の相談

- ① 感染の疑いのある症状が出た際の相談・受診・検査の流れは厚生労働省の案内をご参照ください。

<参考>

厚生労働省「症状がある場合の相談や新型コロナウイルス感染症に対する医療について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_ga_00001.html

- ② 帰国者・接触者相談センターへの相談の目安として、少なくとも以下の条件に当てはまる方はすぐに相談してください。

- ✓ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ✓ 重症化しやすい方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある場合。
 - ※ 高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、慢性閉塞性肺疾患など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方
- ✓ 上記以外で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤など飲み続けなければならない方も同様です。）

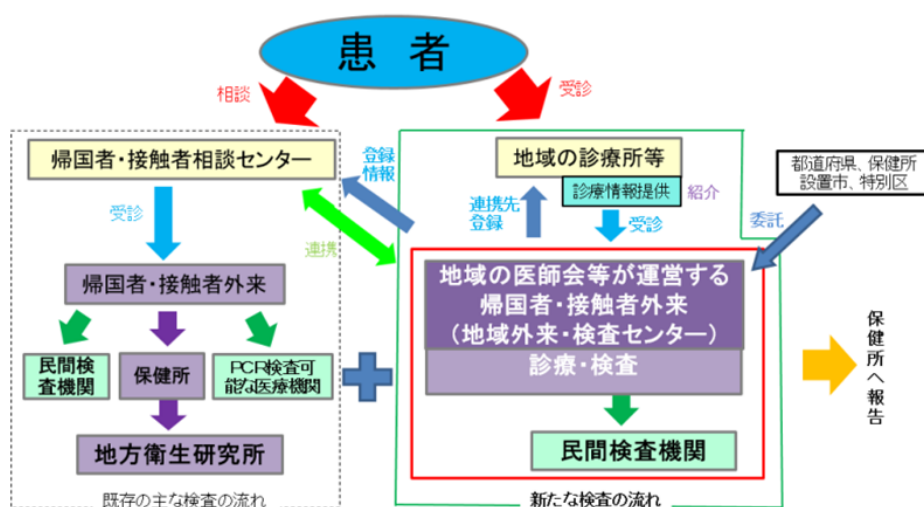
- ③ 発症から検査までの流れ

- ✓ 発症から検査までの流れは厚生労働省ホームページを参照ください
- ✓ 各都道府県が公表している、帰国者・接触者相談センターのページもあわせてご確認ください。

<参考>

厚生労働省「新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokuyasessyokusya.html



3 章 V リーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(5) 疑いのある症状が出た際のチームの対応

- ① 本人、または、家族・同居者に疑い症状が出ている場合、または、濃厚接触が疑われる場合は次の措置をとってください。
 - ✓ 自主隔離し、チームドクター・保健所・医療機関と相談の上、診療や検査を実施してください。
 - ✓ Vリーグ機構事務局への報告をお願いします。
- ② 自主隔離からの復帰
 - ✓ 2週間、症状なく過ごした場合はそのままチームに復帰して問題ありません。
 - ✓ 疑い症状が数日で収まった（解熱等）の場合は、数日間の経過観察の後にチームドクター、保健所・医療機関に相談の上、チームのへの復帰時期を相談してください。

5. 感染者が出た際の対応(新型コロナウイルス対策に関する規程第 10 条)

- ① チーム関係者から発生した際の対応
チーム関係者に新型コロナウイルス陽性者が発生した場合は、陽性反応だった本人は保健所及び医療機関の指示に従い入院もしくは自宅待機を行ってください。陽性反応者と濃厚接触者は自宅待機するなど、その他のチーム関係者と隔離し保健所及び医療機関の指示に従ってください。
- ② その他のチーム関係者の対応
その他の選手及びチーム関係者は陽性反応者との濃厚接触の有無に関わらず、3日毎の定期抗原検査（感染者の検出感度はPCR検査と遜色なく98%）を開始し、14日間にわたり実施してください。保健所より濃厚接触者と判定されず、この期間、陰性が確認できている者はチーム活動を継続することを認めます。陽性者が発生した場合は、“抗原検査実施後の対応フロー”に準じて対応してください。この検査の受診は当該チーム負担となります。
- ③ 保健所より濃厚接触者と判定されず、②の検査において陰性が確認された選手の人数が試合参加に必要な人数を上回っている場合、チームの大会参加を認めます。
- ④ ③の場合においても、チームの判断により試合への参加を辞退した場合は当該大会を限定的中止として扱います。

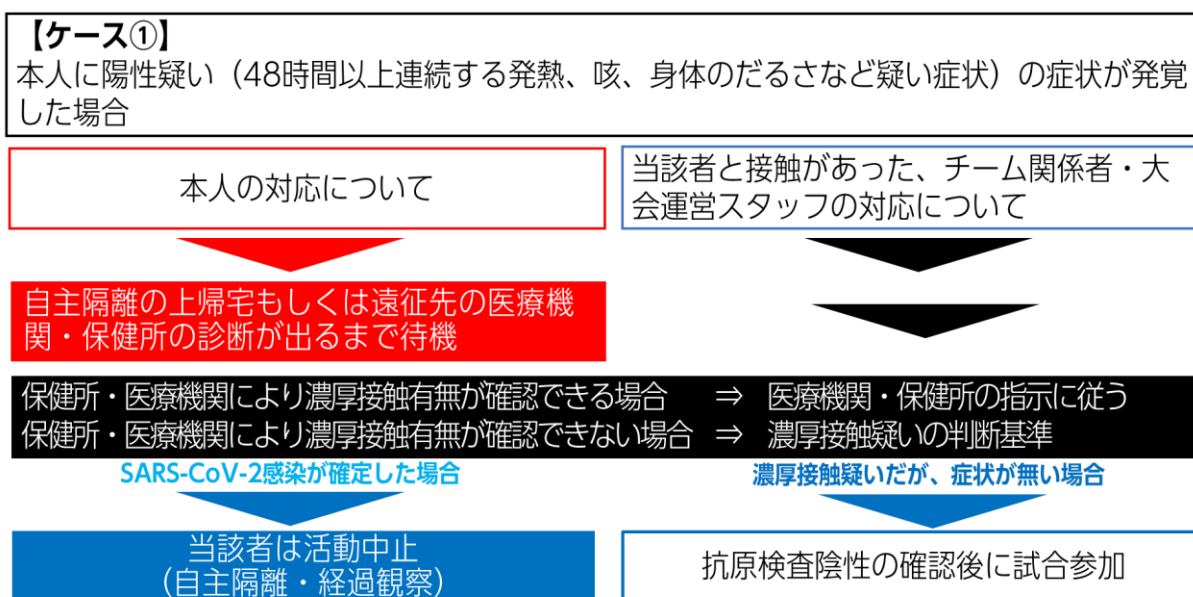
3 章 V リーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

6. 保健所及び医療機関と連絡が取れないタイミングでの疑い症状への対応

疑い症状が発生した際には、医療機関及び保健所に相談の上、その判断に従うことを原則とします。しかし、試合直前に選手、チーム関係者、大会関係者もしくはその同居家族から発熱をはじめとする症状（感染の疑い）が出た場合、近隣の保健所、医療機関等に確認が取れないもしくは、医療機関・保健所の判断が大会開催日に間に合わない場合の対応についての方針を次の通りといたします。

※ 試合直前とは大会前日の夜や大会当日の朝を想定しています。

<ケース①>



- ① 発症日（無症状の場合、検体採取日）の2日前以降の接触を確認する
- ② 48時間以上連続する発熱、咳、身体のだるさなど疑い症状のある者は「陽性疑い」とみなし、その者との関係で「濃厚接触疑い」にあたる者がいないか確認する

【濃厚接触者疑いの基準】

- a) 陽性者（陽性疑い者）と1m以内の距離において、マスクを着用せず24時間で合計15分以上会話した者
- b) 陽性者（陽性疑い者）と日常的に接触している者
 <例>
 寮で同室の方、通訳の方でaに該当する者、トレーナー（マスクの着用など必要な対策をせずに処置をした者）ほか
- c) 陽性者（陽性疑い者）と一般の飲食店で飲食を共にした者

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

- d) 陽性者（陽性疑い者）移動中等での隣席での飲食で、十分に注意を払わなかった場合
（十分な注意とは、距離（一人おき交互など）、食事時間、会話を慎む、食事前の手指消毒をいう）
- e) ほかの症状を伴わない単純な発熱は、「陽性疑い者」とみなさない

<ケース②>

【ケース②】

本人の身近な方（同居家族等）が陽性と認定された場合

本人の対応について

本人は濃厚接触者のため、自主隔離の上、
帰宅もしくは遠征先の医療機関・保健所の
医療検査を受診

当該者と接触があった、チーム関係者・大会運営スタッフの対応について

抗原検査陰性かつ症状が無ければ試合参加

<ケース③>

【ケース③】

本人の身近な方（同居家族等）が濃厚接触者と認定された場合

本人の対応について

本人は身近な方（同居家族等）の医療検査の結果が判明するまで試合参加を見合わせる

【結果陽性】

本人は濃厚接触者として医療検査受診

【結果陰性】

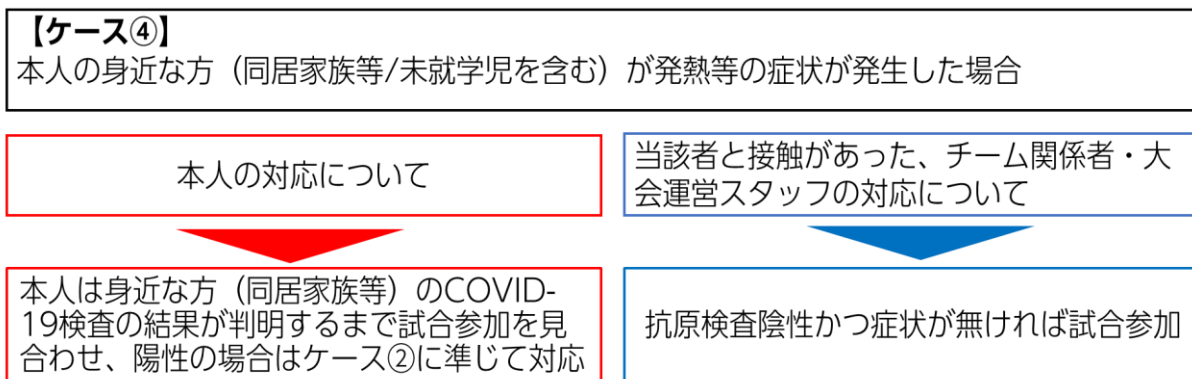
本人は試合参加

当該者と接触があった、チーム関係者・大会運営スタッフの対応について

抗原検査陰性かつ症状が無ければ試合参加

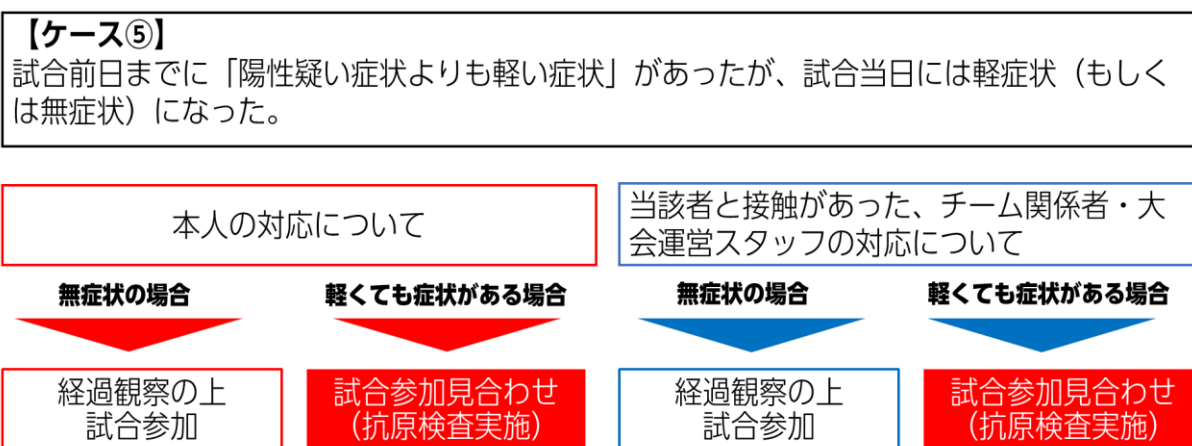
3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

<ケース④>



※ 同居家族については可及的速やかに医療検査を受診いただくようお願いします。

<ケース⑤>



3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

7. 情報の共有・発表について

(1) 情報開示にあたって

① 感染症法が要請する情報開示

新型コロナウイルスは感染症法に定める指定感染症です。

② 都道府県による情報開示

- ☐ 都道府県は感染症の予防や治療に必要な情報として、感染発生情報などを積極的に公表することが求められています。(感染症法第 16 条)
- ☐ その際、感染症に関連してかつて患者やその家族等に対するいわれのない差別や偏見が存在した教訓から、個人の人権が損なわれることの無いよう、情報保護等には十分な留意が必要です。(感染症法前文、4 条、16 条)
- ☐ 「病歴」は、個人情報の中でも極めてプライバシーがより保護されるべき情報です。
- ☐ 都道府県は概ね以下のような項目を発表しています。
・年代、性別、職業、居住地、経過・症状、行動歴、濃厚接触者の状況、渡航歴（発表内容は都道府県によって異なります）

③ 個人名の公開について

- ☐ 個人名は原則非公開とする。感染者本人に公開の意思がある場合、これを尊重する（公開してもよい）が、その場合も、家族・関係者などがいわれのない扱いを受けたりするなど、多大な影響が及ぶ可能性なども十分考慮した上で、慎重に判断してください。
- ☐ 匿名での発表でも十分に社会的責任を果たすことはできます。
- ☐ 保健所による積極的疫学調査に全面的かつ速やかに協力できるよう、行動記録や施設の見取り図などを速やかに提供できるよう、準備をお願いします。
- ☐ また、日ごろから健康管理、感染リスク管理を行っていることが前提となります。速やかに提供できるよう準備をお願いします。
- ☐ 従業員から感染者が出た企業に対して、保健所が公表を指示することはありません。また、企業が自主的に公表する場合は、個人情報や人権に十分配慮し、保健所と連携することが求められます。

④ 情報共有と発表について（『新型コロナウイルス対策に関する規程』に準ずる）

＜Vリーグチーム登録選手・スタッフに感染者・感染疑い者（濃厚接触者）が発生した際の方針＞

- ☐ 速やかに Vリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は 2 週間以内の濃厚接触の有無を確認するために関係者に事実の報告を行う。（但し、その情報は機密情報として取り扱い第三者には公表しない。）
- ☐ 公表の有無は当該チームが判断を行う。その場合でも、氏名は原則、非公表とする。

3 章 V リーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

＜Vリーグ機構役員・大会関係スタッフに感染者・感染疑い者（濃厚接触者）が発生した際の方針＞

- 速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は2週間以内の濃厚接触の有無を確認するために関係者に事実の報告を行う。（但し、その情報は機密情報として取り扱い第三者には公表しない。）
- 公表は原則、行わない。

＜試合観戦者から発生した際の方針＞

- 保健所から連絡を受けたVリーグチームは速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は濃厚接触の有無を確認するために「どの試合のどの座席で発生したか」の情報を関係者に報告を行う。
- 個人情報保護の観点からお客様の陽性者情報の一般公表は行わない。但し、濃厚接触者を特定するために保健所の要請に応じて、保健所に対する積極的な情報提供（席種及び濃厚接触疑い者の個人情報など）を行う。
- クラスターの疑いもしくはクラスターが発生した場合には、Vリーグ機構及びホームチームはその事実を公表する。但し、その場合は個人情報が特定されることの無いよう、十分に配慮の上、公表を行う。

【参考（観戦者の中から新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応フロー）】

1	お客様の中から感染者が出たとわかるのは、試合から2～10日目後と想定されます。保健所は国立感染症研究所の指示に従って情報収集します。
2	その方は保健所から、発症日（検査結果判明日でなく）の前後の行動を尋ねられ、「Vリーグに行きました」と答えると、保健所からチームに連絡が入ります。
3	チームは、その方と濃厚接触した方を特定するために、どの席にいたのか、誰が近くにいたか、人ごみはできていなかったかなど、保健所からヒアリングを受けることになります。
4	チームは保健所にお客様の個人情報を提供することになります。（※VリーグはVチケの情報提供等のサポートは行います）
5	保健所から濃厚接触者の方に連絡が入る流れになります。（※保健所の対応によってはチームから同大会日にいた濃厚接触者に連絡を行う可能性あり）

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(2) 感染に関する発表の例（参考：Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン）

本日、（ チーム名 ）所属の選手（20代）が、新型コロナウイルス感染症のPCR検査で陽性判定を受けましたので、下記にお知らせいたします。

- ・ 2020年9月25日にPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルス陽性と確認されました。
- ・ 本人には微熱はあるものの大事には至っておらず、隔離の上、体調回復に努めております。また、チーム内にかぜ症状などを示している者はありません。
- ・ ただいま保健所と協力して、濃厚接触者のリストアップを行っております。発症日（9月20日）の2日前から接触が対象と伺い、9月18日、19日の練習に参加した全員を、10月2日まで自宅隔離しました。引き続き、9月18日以降の行動記録について保健所に提出して参ります。
- ・ 保健所によりますと、9月18日以前の接触は、濃厚接触にあたらないとのことでした。また、濃厚接触者の家族・同居人で発熱などの症状の無いものは、普通に行動してもよいと伺いました。しかし、念のため、当チームより濃厚接触者の家族・同居人にも自主隔離をお願いしております。
- ・ チーム事務局、練習体育館は昨日より閉鎖しております。保健所の指導のもと消毒を行ったのち、再開させて参ります。
- ・ 当チームは日頃より、感染拡大防止に取り組んでおりましたが、今後いっそう引き締めて安全確保に努めてまいります。

【発症日2日前からの行動】

9月18日（金）	練習参加。体温36.5度。午後から夜は家族と過ごす
9月19日（土）	練習参加。体温36.5度。午後から夜は家族と過ごす
9月20日（日）	練習参加。夕方、発熱、38.2度、倦怠感あり【発症】
9月21日（月）	自主隔離開始。体温、38.7度、味覚異常あり
9月22日（火）	医療機関である●●病院を受診、経過観察
9月23日（水）	体温38.5度
9月24日（木）	帰国者・接触者センターに相談し帰国者・接触者外来を受診。 PCR検査を受診
9月25日（金）	PCR検査の陽性判定、入院治療

なお、Vリーグはプライバシー及び人権保護の観点から、個人名の公開は原則として差し控えております。但し、当該者の意思は尊重します。他方、感染拡大の防止については、保健所に対し必要な情報を迅速にご提供するなど最大限、努力して参ります。どうぞ、ご理解賜りますよう、宜しくお願い致します。

3 章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(3) 発表内容チェックシート（参考：Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン）

属性	チームとの関係及び立場
経過・症状	・ 発症日、初期症状（発熱/咳/倦怠感/味覚嗅覚障害/咽頭痛/胸痛など） ・ 医療機関に受診した場合は順に「医療機関 A」「医療機関 B」とする※匿名可 ・ 医療機関初見（肺炎初見の有無など） ・ PCR 検査受診日・陽性判定日 ・ 現在の容態 ・ 現在の隔離状況（入院・自宅隔離など）
行動履歴	発症日 2 日前～発表日までの行動履歴（練習参加等）
感染経路	判明している事項
関係者の状況	・ チーム関係者に症状のあるものの有無 ・ 濃厚接触者・疑い者の取扱い ・ チームの活動状況など
保健所・自治体との連携	・ 施設消毒の実施状況 ・ 濃厚接触者の調査状況
今後について	・ チームとしての感染拡大への取り組み ・ 活動停止スケジュールなど

4章 入場者制限付き開催について

1. 入場者制限付き開催の考え方

2021-22 シーズンは新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から政府方針に従い、入場者数は会場収容客数の50%(席種ごとに50%)を上限として開催いたします。この入場者数の上限は今後の感染拡大状況や政府方針に従い、変更する可能性があることを念頭に置いて開催の準備をお願いします。

各ホームチームは、この考え方で開催する旨を予めホームタウン自治体ならびに開催地の自治体に了解を得ていただくようお願いします。

また、入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合は、そのキャパシティに応じ、目安の人数上限等を下回る制限を行うなどの検討をお願いします。

2. チケット販売の考え方

各ホームゲームでチケット販売及び席割を検討するにあたり、次の事項を念頭に検討する必要があります。

- 【1】 会場への入退場時及び座席に於いて「密集」「密接」「密閉」を作り出さない
- 【2】 新型コロナウイルスの影響により入場者制限の方針が変更になることがある
- 【3】 万が一お客様の中に新型コロナウイルス罹患が発生した際に感染経路を特定する必要がある

この考え方から、席割及びチケット販売については下記の必須事項を守り、推奨事項を参考に計画いただくようお願いします。

【必須事項】		
No.	項目	備考
1	客席同士の間隔を最低1席分空ける	上記【1】、次々頁参照。但し、お客様の個人情報と着席位置を把握することを前提に家族席等隣合わせの席を設定することは可。その場合でも、50%制限の観点から設定席数と同じ数の空席を設定すること。
2	着席不可の席には席にその旨を記載する	上記【1】
3	自由席を設けない。チームサポーター席も全て指定席とする	上記【1】【3】、待機列解消
4	入場者の座席位置と個人情報の把握	上記【3】

4 章 入場者制限付き開催について

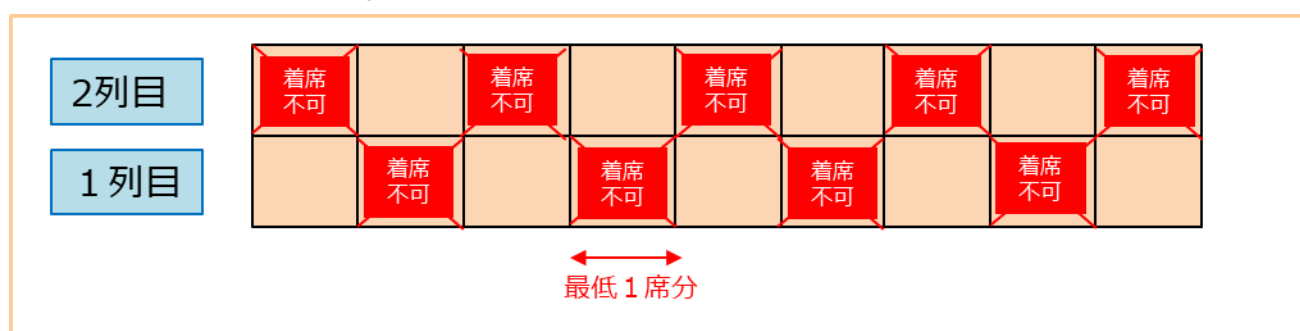
5	全席種 V チケもしくはプレイガイドでの販売	上記【3】。但し、スポンサー向けや関係者向けなど「顔の見えるお客様」に対して、お客様の個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス）を把握することを前提に手売りすることは可とするが、どの席に誰が座っているかをホームチームが把握し管理することを条件とする。 ※V チケ及びびあで販売している場合は、【3】の際は V リーグ機構でもサポートができるが他のプレイガイドや手売りの場合、V リーグ機構が介入できないため、チームで責任をもって行う。
6	チケット販売は 1 人あたりの購入可能枚数 5 枚を上限として販売する。	上記【3】。1 人で複数枚購入できる設定とする場合は、チケット購入者を通じてチケット購入者以外の観戦者を追跡できることを前提とする。販売時にお客様にアナウンスする
7	席種ごとに入場・退場可能時間を変更すること等により待機列の解消に努める	上記【1】、待機列の解消
【推奨事項】		
No.	項目	備考
8	客席同士の間隔を最低 1 メートル空ける	上記【1】、次頁参照。但し、お客様の個人情報と着席位置を把握することを前提に家族席等隣合わせの席を設定することは可。その場合でも、50%制限の観点から設定席数と同じ数の空席を設定すること。
9	当日券の販売は行わない	上記【1】、【3】。もし販売する場合は、プレイガイド（スマホ発券）のみでの販売とするか、会場で販売を行う場合は感染症拡大対策を行った上での販売とするとともに、販売の際にはお客様の座席と個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス）を把握することを条件とする。
10	チケットの販売開始は開催日の 1～2 週間前からの販売とする	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
11	チケットは 1 興行ごとに販売する	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
12	シーズンチケットは販売しない	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
13	全席種 V チケでの販売とし、チケットの引き取り方法も「アプリで引き取り」に限定する。 (紙チケットでの引き取りは不可にする)	上記【3】、チケットもぎり時の接触の回避、新型コロナウイルス罹患発生時に事務局との連携を図るため（他プレイガイドで販売していると情報の探索等に苦慮するため）

4 章 入場者制限付き開催について

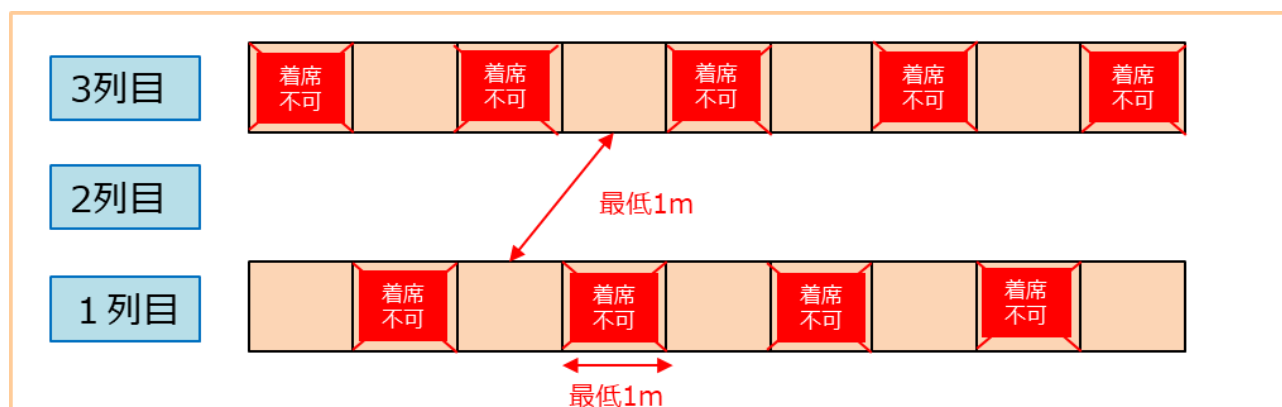
【2021-22 V.LEAGUE における観客席設置ルール】

- ① 観客席の設置は、コート内（フリーゾーンも含む）、チームベンチ、ウォームアップエリアに隣接する 2m 空間内に設置することを禁止とする。
- ② アクリルボードなどの設置により、飛沫感染が防止できている場合は、2mの確保を不要とする。ただし、選手のプレーに影響の及ぶエリアへの設置は、衝突による怪我防止の観点から不可とする。
- ③ アリーナ面の座席はコートの四方への設置を認めるが、ゾーン及び動線の区分により、選手およびチームスタッフが観客と接触することを回避する。

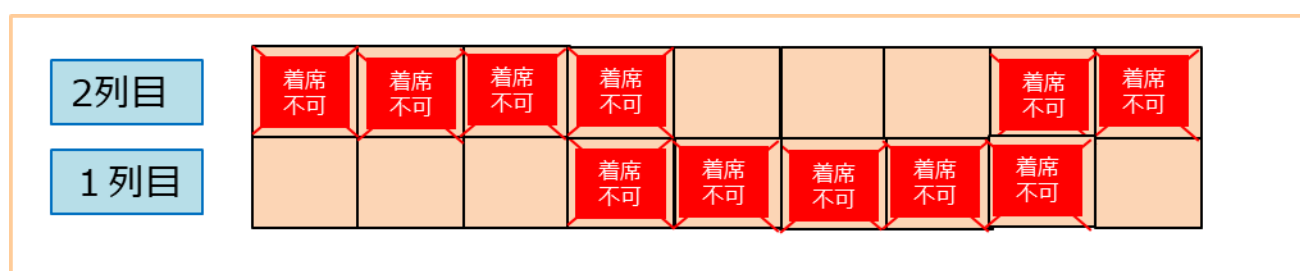
【必須で設定すべき席割（参考）】



【推奨の席割（参考）】



【ファミリー席等のグループ席を設定する際の席割（参考）】



3. 例外適用：2021 年 10 月末までの収容率緩和に関わる対応に関して

※ 本緩和措置の適用を受けるためには、本ガイドライン（スポーツ庁及び内閣官房コロナ室承認済み）記載事項全てを必須事項として遵守いただく必要があります。

令和 2 年 9 月 11 日に内閣官房コロナ室から各都道府県へ、また、14 日にスポーツ庁より通達があったものについて、11 月末までの催物の開催制限等についての事務連絡を受けての緩和方針の適用に該当する件については、以下の通達内容に従い、例外適用として定める。

（本適用については 2021 年 10 月末まで延長となりました。/2021 年 8 月 27 日 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長発信文書）※詳細は「2 章【参考】イベント開催制限の目安（政府方針）」を参照

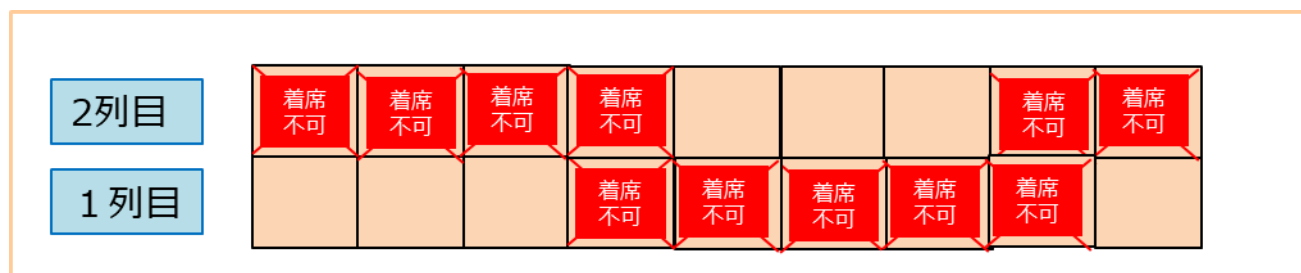
・異なるグループ間では、座席を 1 席空け、同一グループ（5 人以内に限る）内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は 50%を超える場合がある。

・この場合、収容率が 50%を超える場合も許容されるということになるが、あくまでも本ガイドラインとしての必須事項の効力に影響はなく、例外適用として期間限定で認められる内容とする。また、今後、緩和方針が変更された場合等は速やかに、その通達に従い、収容率の管理についても徹底していくこととする。参考として、異なるグループ間の座席間隔に関して、次頁に例を図示する。

4 章 入場者制限付き開催について

【ファミリー席等のグループ席を設定する際の席割（参考）】

※収容率 50%以内での提示例 ガイドライン P.37 参照

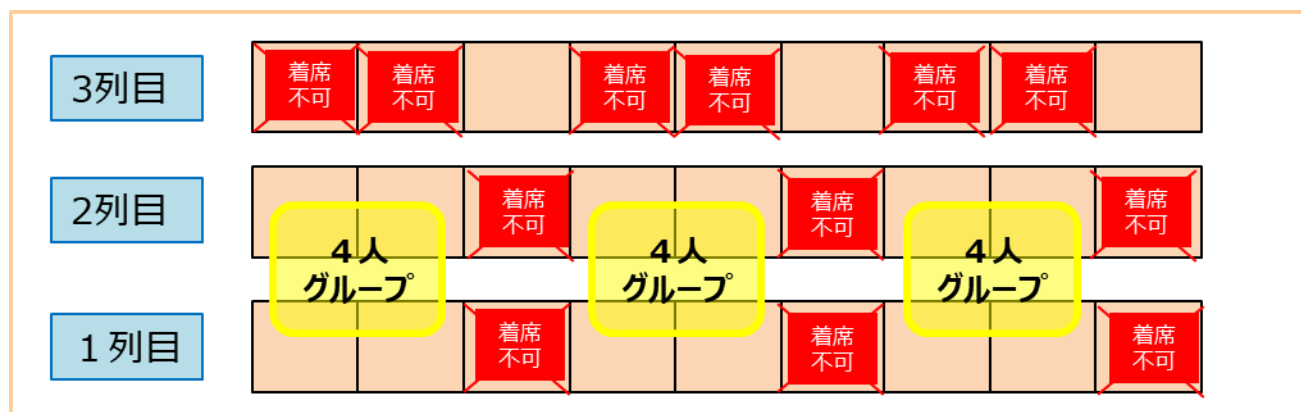


※2021 年 10 月末までの暫定緩和措置

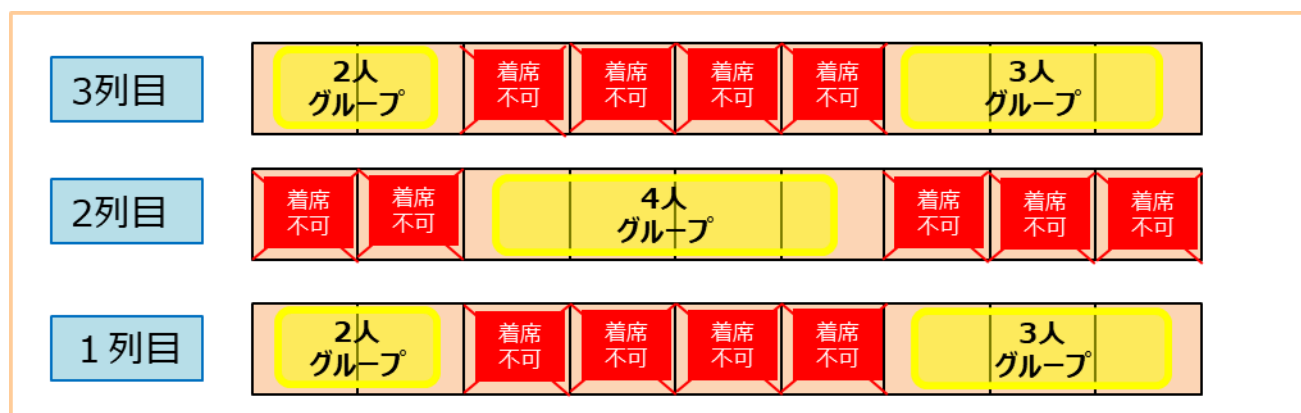
【ファミリー席等のグループ席を設定する際の席割（参考）】

※グループ間の空席を 1 席に留めることを許容する場合（但し、1 グループ 5 名以内とする）

パターン 1（例）



パターン 2（例）



4 章 入場者制限付き開催について

4. アリーナのゾーニングの考え方

(1) 会場のゾーニングと動線の考え方

会場のゾーニングにあたっては、各ゾーンの人数を限定することで感染リスクを抑えることと、ゾーニングを徹底することで感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。会場のゾーニングと動線づくりは、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

ゾーン1：競技関連

- ✓ コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア周辺
- ✓ 選手入場口
- ✓ 選手及び JURY、審判員の控室

ゾーン2：大会運営スタッフ&プレス関連

- ✓ 運営スタッフ控室
- ✓ プレスルーム
- ✓ プレス席

ゾーン3：お客様エリア

- ✓ 客席
- ✓ コンコース

各エリアのゾーニングを明確化し、ゾーンごとの動線を設定し、人と人との接触を限定してください。特に「ゾーン1」に入ることができるスタッフの人員を必要最低限に限定いただき、「ゾーン1」で必要な業務については非感染検査を受診しているスタッフを中心に実施していただくようお願いいたします。

非感染検査を受診していないスタッフが「ゾーン1」で活動する場合はマスクの着用を必須とし、その他の感染拡大防止対策を実施の上、「ゾーン1」で活動いただくようお願いいたします。（マスクの着用と感染拡大防止策の実施は「ゾーン2」、「ゾーン3」でも同様に必要となります）

(2) 来場者の管理

ホームチームは予め、チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ及び招待者の一覧表を作り当日の管理を行ってください。（一覧表のフォーマットは関係者サイト掲載資料をご活用ください）

- ① 全員の来場時刻及び退場時刻を記録しておいてください
- ② 感染者が発生する場合に備えて、来場者全員の連絡先を把握しておいてください
- ③ Vリーグ機構の関係協力社の来場情報は、大会の3日前までに「関係協力社来場者リスト」にてご連絡いたします
- ④ 大会参加チームと事前にコミュニケーションをとり、チーム関係者の来場に関する情報を確認した上で大会を迎えてください

4 章 入場者制限付き開催について

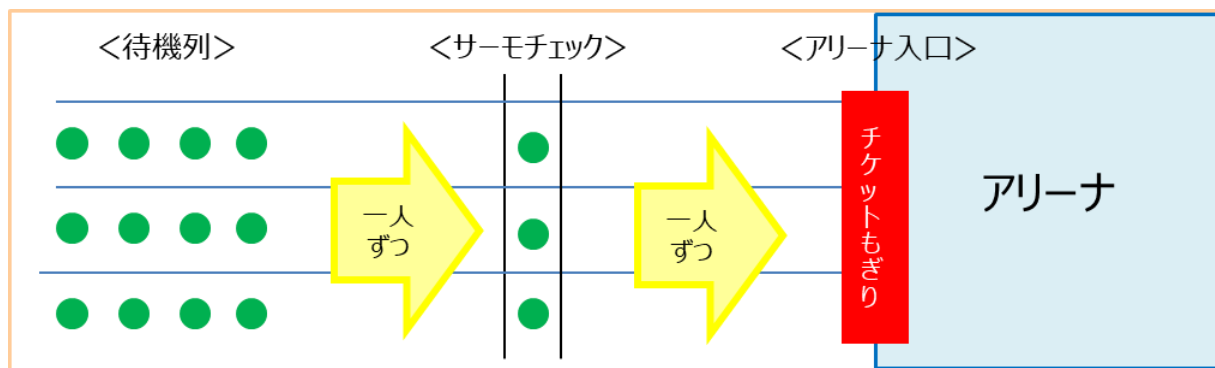
5. 会場運営

- (1) 来場者全員（チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会関係スタッフ）に求められること
 - ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。
 - ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
 - ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
 - ④ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する（トイレ・売店等の密集が発生しやすい場所は待機位置をマークする等、特に注意する）
 - ⑤ マスクを着用する。マスクを着用しない者がいた場合は、個別に注意をしていただくようお願いします。
 - ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。
- (2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割
 - ① 対策責任者はガイドラインに沿った対策が行われているかチェックし、改善を指示してください。
- (3) アリーナの衛生管理
 - ① 使用する全ての諸室に消毒液を設置してください。
 - ② トイレには、手をふくための使い捨てペーパータオルを用意することを推奨します。また、手洗い場には、石鹸（ポンプ式）を用意してください。
 - ③ チーム到着前に、チームが使用を予定する全ての箇所を消毒してください（直近3日間で使用されていない場合は不要）。
 - ④ Vリーグ関係者で占有できないエリア（Vリーグ関係以外の方の往来がある箇所）については、施設管理者と共同の上、必要に応じて消毒を行っていただくようお願いします。
 - ⑤ 試合前、タイムアウト時、セット間、試合間にはこまめにドアや窓を開け換気を実施していただくようお願いします。
- (4) アリーナへの入退場の管理（ファン・観戦者）
 - ① 待機列が密にならないように工夫する（待機列を形成する場合は1mの身体的距離を確保する）
 - ② 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）及び各地域で指定された通知サービスの利用を呼び掛ける。（会場入口付近各アプリケーションのQRコードを掲示するなどお客様への周知を行ってください）
 - ※ 携帯電話の使用を控える場面では、接触確認アプリ（COCOA）を機能させるため、「電源をonにした上で、マナーモードにすること」を推奨します
 - ③ 入場時に体温を測定し、37.5度以上（37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している

4 章 入場者制限付き開催について

場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む。以下 c)、d)も同様)の場合入場をお断りしてください。

【体温チェック（参考）】



- a) Vリーグ機構よりサーモメーターは会場演出ツールとともに持ち回ります。（1 会場あたり 4 台）
- b) チケットもぎりの前にサーモメーター検温スペースを設置してください。
- c) サーモメーターによるスクリーニングにより 37.5 度以上と疑われる温度が検知されたお客様には、接触体温計により再度、体温チェックを行ってください。
- d) 接触体温計でも 37.5 度以上の体温が検知された場合、入場をお断りしてください。
 - ✓ その場合でも、原則、チケット料金の払い戻しは行わない
 - ✓ 入場をお断りした方の連絡先を把握しておく
- e) お客様のマスクの着用は必須として、必要に応じてマスクを配布してください。
- f) 手荷物検査を行う場合は、お客様に荷物をあけてもらい、お客様の荷物には触れないでください。
- g) チケットもぎりは、スタッフは券面チェックのみを行い、お客様自身にチケットをもぎってもらう。（V アプリチケットレスサービスご利用のお客様にはスタッフが対応する）
- h) お客様への配布物は、不特定多数の方が触れないように管理し、定期的に手指を消毒したスタッフが配布してください。
- i) 会場入口を対応する全てのスタッフは、正しくマスクを着用してください。手袋、フェイスガードは必要に応じて着用してください。
- j) チケットもぎりを行った後にお客様の手指に消毒液を噴射し、必ず入口での消毒を行った後に入場していただく。

(5) アリーナへの入退場の管理（チーム関係者・大会関係者・プレスほか）

- ① 入場時に体温を測定し、37.5 度以上(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)の場合入場をお断りしてください。
 - ※ Vリーグ機構よりサーモメーターは会場演出ツールとともに持ち回ります（1 会場あたり 4 台）
 - ※ 検温の方法はファン・観戦者への対応と同じです。
- ② 来場者名簿を利用して、来場時刻と退場時刻を管理してください。
- ③ 来場者全員の健康チェックシートの提出を求めてください。

4 章 入場者制限付き開催について

④ 全ての入口に消毒液を設置してください。

(6) 場内/場外における食品の販売とお客様の持ち込みについて

① 食品の販売及びお客様の食事の持ち込みの可否は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。

② 食事の販売を行う場合、お客様の持ち込みを認める場合は次の事項に留意してください。

- a) 食事の販売もしくは、お客様の持ち込みを認める場合は、アリーナ内もしくはアリーナ外にイートインスペースを設置することを推奨します。
- b) イートインスペースの設置においては、対面での食事を避け十分な広さのスペースでお客様が身体的距離を確保できるよう配慮してください。また、可能な限り換気のいい場所にスペースを設置いただくようご配慮のほど、よろしくお願いいたします。お客様が手指消毒を行う、消毒液の設置をお願いします。
- c) スタンドでの飲食については、アリーナ管理者の方針に従いその可否を決定してください。(アリーナ側が認めるのであれば、スタンドでの食事也可とするが、向かい合って飲食をすることや、周りのお客様に飛沫等が飛ぶことが無いよう、注意喚起をお願いします。違反があった場合は、個別に注意をしていただくようお願いします。)
- d) 食事の際には、手指消毒及び黙飲食の徹底化、可能な限りマスクを着用するようアナウンスをお願いします。
- e) 感染拡大防止の観点から食事後のゴミは全てお客様自身でお持ち帰りいただくことを推奨するが、そのことにより、アリーナ近隣のゴミ箱が使用されてしまうなど、近隣の施設にご迷惑をおかけしてしまうことも想定されることから、アリーナ管理者と十分相談の上、決定してください。
- f) アルコール飲料の販売を行う場合は、アリーナ内では過度の飲酒をお控えいただくよう、お客様へご案内ください。

③ 飲食販売及びグッズの販売についても感染拡大防止策を講じた上で実施していただいて結構です。

④ 販売員は必ず、正しくマスクを着用してください。手袋、フェイスガードは必要に応じて着用してください。

【例外対応（収容率 50%を上回る会場の場合の飲食の考え方）】

食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、飲食用に感染防止策を行ったエリア以外では、収容率が 50%を超える会場での飲食の販売及び提供は原則自粛いたします。

＜飲食用に感染防止策を行ったエリアの基準＞

■ 食事以外のマスク着用の担保

- ① イベント前に飲食時以外のマスク着用徹底を動画上映・アナウンス等で周知すること
- ② イベント中の適切な監視体制を構築し、確実なマスク着用を求めること
- ③ 着用状況を踏まえ、必要に応じ一層の周知を図ること

■ 十分な換気

次の①②のどちらかが担保されていること。

4 章 入場者制限付き開催について

- ① 二酸化炭素濃度 1000ppm 以下かつ二酸化炭素濃度測定機器等で当該基準を遵守していることが確認できること
- ② 機械換気設備による換気量が 30 m³/時/人以上に設定されており、かつ、当該換気量が実際に確保されていること

■ 発声が想定される場合の飲食禁止

発声が想定される場面（休憩時・イベント前後）での飲食を禁止すること

■ 食事時間の短縮

長時間の飲食が想定されうる場合は、マスクを外す時間をなるべく短くするため、食事時間短縮のための措置を講ずるよう努めること。

(7) エアコンの使用と換気について

- ① 秋～春に開催する Vリーグでは防寒のためにエアコンの使用は必須となります。しかし、エアコンの風によって新型コロナウイルスの感染が広がる事例が報告されています。エアコンの使用時間は時間を区切って限定的に使用すること、定期的な場内の換気を実施していただくよう、お願いします。
- ② 試合会場に関わらず、控室、プレスルーム、トイレなど全ての部屋の換気を定期的の実施していただくよう、お願いします。
※ 厚生労働省によると、
 - i. 窓による換気は 1 時間に 2 回以上、数分間の換気を行うこと
 - ii. 空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は二方向の壁の窓を開放することが推奨されています。
- ③ 必要に応じ、CO2 測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし二酸化炭素濃度 1000ppm 以下を維持することも望ましい。（※機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。）
- ④ 乾燥する場面では、湿度 40%以上を目安に加湿することを推奨します。

(8) 喫煙所の設置について

- ① 喫煙所は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。
 - ✓ 設置時間を限定して、屋外に設置していただくことが望ましい。
 - ✓ 設置にあたっては、人数制限を行うなど、身体的距離に配慮してください。
 - ✓ マスクを外しての会話は控えるよう注意喚起を行ってください。

(9) Vリーグ機構会場持ち込み演出ツールについて

- ① Vリーグ機構持ち込みの演出ツールについては、複数会場を持ち回り使用する物品となります。ついては、使用の間隔が 3 日以内の場合、その都度、消毒してください。
- ② 2021-22 シーズンも、Vリーグ機構が持ち回りを行っていた、下記の物品の持ち回りは行いません。
 - a) Vリーグロゴ入り装飾用横断幕（片面/両面）

4 章 入場者制限付き開催について

b) Vリーグロゴ入りのぼり

※ 貸与を希望するチームには、横断幕とのぼりの貸出をさせていただきます。

c) 投げ込み用マスコットボール

d) 大型 LED ビジョン (V1 のみ)

※ V1 チームは手めくり得点版を 2 基ご準備いただきますようお願いいたします。

e) タラフレックス・カラーコートの敷設 (V1 のみ)

f) 諸室表示 (デザインは関係者サイトにアップロード)

(10) 応援幕の掲示について

応援幕・応援旗の掲示については、チーム（ホームチーム、アウェイチームを問わず）の責任管理下でチームが持ち込み、掲示を行う幕・旗のみ掲示を行うことを許容します。（ホームチームがホームチームの責任管理下でローカスポンサーのバナーを掲示することも可）。一般のお客様に旗・幕に触れないよう啓発をお願いします。また、一般のファンの方が会場に旗や幕を持ち込んで、掲示・掲出を行うことは禁止いたします。

(11) イベントについて

- ① イベントを開催する場合は身体的距離に十分配慮してください。
- ② イベント実施において、飛沫拡散を防止するために演者やお客様の発声を誘発するようなイベントを一切禁止いたします。
- ③ チアリーダーの応援について
 - ✓ チアリーダーがフロア上で演技を行う場合は、選手やスタッフとの距離を 2m 以上確保し、実施するようにしてください。
 - ✓ チアリーダーの客席及びスタンドでの応援はお客様から離れた位置で、発声を誘発しない範囲で実施することは許容されます。
- ④ マスコットの来場及び起用について
 - ✓ マスコットがフロア上でパフォーマンスを行う場合は、選手やスタッフとの距離を 2m 以上確保し、実施するようにしてください。
 - ✓ お客様の密集を防ぐために、マスコットによる入口でのグリーティングやゾーン 3（お客様エリア）においてマスコットがファンサービスを行うことを禁止いたします。
- ⑤ その他、感染拡大防止の観点から次頁のイベントについては禁止とさせていただきます。

4 章 入場者制限付き開催について

実施を中止する応援スタイル及びイベント	備考
チアスティックの持ち込み及び応援	
声を出しての応援や声だしを先導するような応援やイベント	
指笛による応援	
ハイタッチや肩を組んでの応援	
タオルマフラーや大旗を振り回してのイベント	
試合前後のエール交換	
ビッグフラッグを用いた応援	掲示のみであれば可
ファンと選手が直接接触するファンサービス	
スタンドへの投げ込みプレゼント	試合前のマスコットボール 試合後のサイン入り試合球 試合後のブイリーほか
選手からお客様への直接のプレゼント	
お客様から選手への直接のプレゼント	
キッズエスコートなどキッズと選手が直接触れ合うイベント	

※ 上記については、今後の状況により、追加・削除・変更の可能性があります

(12) 選手のアリーナへの入退場時の対応について

- ① 選手・スタッフのゾーン 2（大会運営スタッフ＆プレス関連エリア）への立ち入りは記者会見等の必要時以外は一切行わないでください。また、ゾーン 3（お客様エリア）への立ち入りは一切行わないでください。
- ② お客様に対しては感染拡大防止の観点からも、選手の出待ち等の行為は行えないことを周知してください。
- ③ 大会関係スタッフは選手・チームスタッフのアリーナの入退場時には、ローピングするなどして幅 3 メートル以上の動線を作りお客様とチーム関係者の接触を避けるとともに、フィジカルディスタンスを確保してください。

(13) 非接触決済導入の奨励

グッズ販売や飲食販売などお客様との間で金銭の授受をともなうやりとりを行う場合には、電子マネー等の非接触決済の導入を奨励いたします。また、実際の金銭でのやりとりを行う場合は、コイントレーを使用するなど、直接接触を伴う受け渡しを避けていただくようお願いいたします。

(14) 会場で使用する机・椅子の消毒について

- ① 会場内で使用する机・椅子については、使用前に必ず消毒を行ってください。（直近 3 日間で使用されていない場合は不要）。
- ② チームベンチの消毒は、試合前・試合間など必要に応じて行ってください。

4 章 入場者制限付き開催について

(15) お客様の座席の消毒について

- ① お客様の座席についても開場前に必ず消毒を行ってください（直近 3 日間で使用されていない場合は不要）。
- ② チームサポーター席などお客様の入れ替えを行う席は、必要に応じて試合間に清掃・消毒を行っていただくをお願いします。

6. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について

(1) アリーナへの移動

① チーム関係者のバス移動

チーム関係者はバス移動に際して、以下の点に留意してください。

- ✓ 正しくマスクを着用する
- ✓ 複数台に分乗するなど、選手間の距離を空けることを検討する
- ✓ 車内の換気に留意する。1 時間に複数回の換気を行う

② 派遣役員の移動について

派遣役員のアリーナへの移動は公共交通機関の利用を原則とするが、感染拡大防止の観点から、自家用車への移動を許容します。自家用車で移動を希望する場合は、旅費申請時にその旨、事務局に届け出てください。ホームチームは事務局からの要請があった場合は、駐車場の確保にご協力をお願いします。

(2) 試合当日の体温測定

① チーム関係者、派遣役員ともに試合当日の体温測定は必ず実施してください。

② 37.5 度以上の発熱があった場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は、次の通りに処置してください。

- ✓ タクシー等で自宅またはホテルに送り出す
- ✓ ホームチームの対策責任者及び JURY に報告する
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、会場ドクターもしくは保健師に相談の上、診療・検査等の適切な処置をとる
- ✓ 疑いが無い場合は適切に経過観察を行う。

4 章 入場者制限付き開催について

(3) チーム及び派遣役員全員に求められること

- ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。
- ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ④ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する
- ⑤ マスクを着用する
- ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

(4) 更衣室

- ① 更衣室も身体的距離を確保してください。
 - ✓ 更衣室の利用時間をずらすなどチーム内、派遣役員内で工夫してください
- ② 更衣室の滞在時間を極力減らしてください。
- ③ タオル・スクイズボトル・ペットボトルなどは共用しないでください。
- ④ シャワーは一人ずつ間隔を空けて使用することを原則としてください。使用者の人数が多い場合は時間をずらして使用してください。

(5) 選手の治癒・マッサージ

- ① トレーナーはマスク・手指消毒などの予防策をとった上で対応してください。
- ② 使用する器具も必ず消毒を行ってください。
- ③ 外傷に伴う処置を行う場合は、手指消毒・マスク/手袋着用（自身を守る）を実施し対応してください。

(6) 健康チェックシートの提出について

- ① 会場に来場する全てのチーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフは試合日・設営日に関わらず受付にて健康チェックシートの提出をお願いします。
- ② 新型コロナウイルス対策責任者は、全ての関係者の健康チェックシートの提出が行われているか、体調に問題無いかの確認をお願いします。
（対策責任者1人で全ての確認を行うことは不可能ですので、対策責任者の責任下でスタッフの方と分担していただき、実施をお願いいたします。）
- ③ 健康チェックシートについては、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。ホームチームでの破棄難しい場合は、Vリーグ機構への送付をお願いします。

4 章 入場者制限付き開催について

7. 競技について

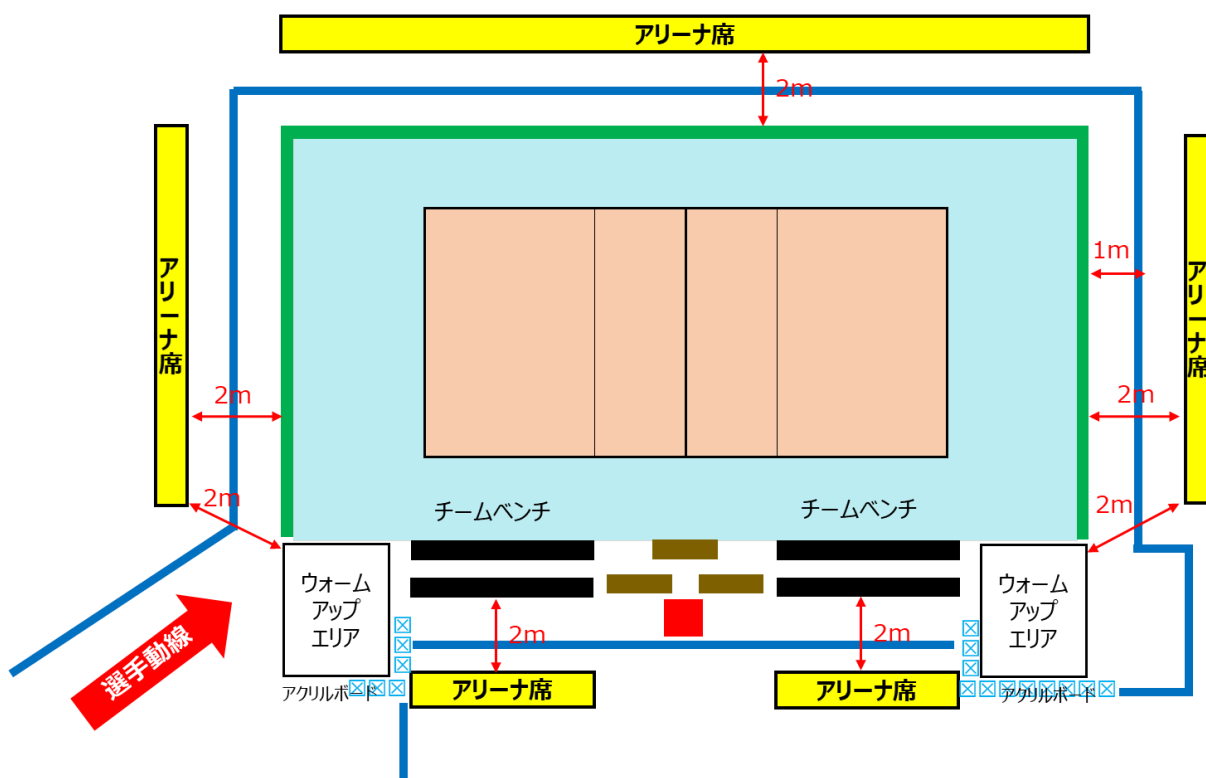
(1) チームベンチ及びウォームアップエリアについて

【原則事項】

競技エリアのレイアウトは下図を原則とします。但し、会場の広さや要件によって下記のレイアウトを変更していただいても結構ですが、その場合でもゾーン区分の考え方は遵守してください。

- ① チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1 席分を空けて座ってください。
- ② ベンチは 2 列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ③ ウォームアップエリアについては、フィジカルディスタンス確保の観点から、4 m×4 m の広さ（正方形での設置ができなければ 16 m²）を確保してください。観客席の設置により、ベンチ後方以外へ移動することも認めますが、ゾーン 3（お客様エリア）との距離を 2 m 確保し、選手・チームスタッフとお客様の接触を回避してください。
- ④ ゾーニング確保の観点からチャレンジテーブルは JURY テーブル後方に配置する。
- ⑤ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。但し、監督が立ち上がってコート内の選手に指示を送る場合はマスクを外してよい。
- ⑥ ベンチ内、ウォームアップエリア内では不要な会話・接触を避けてください。

■ ベンチ後方に観客席を設置する場合の設置例



4 章 入場者制限付き開催について

(2) 競技用具及び競技備品の消毒

- ① 競技用具及び会場備品については、JVA が定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』を参考に消毒を行ってください（直近 3 日間で使用されていない場合は不要）。

JVA 『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』

https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/JVAguideline_20210305.pdf

- ② Vリーグ機構持ち込み物品については、複数会場で持ち回り使用する物品となります。直近 3 日間で使用されている物品は使用前に消毒を行ってください。

(3) 競技関係役員不在時の対応について

競技に関わる役員については『2021-22 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、Vリーグ機構から派遣ならびにホームチームが手配を行ってください。しかし、従事予定であった役員が新型コロナウイルスに感染、疑い、濃厚接触その他、体調不良などの理由により、予定の職務に従事できなくなり、かつ、人員の補充等ができなかった場合は、下記の対応により試合開催を優先する。

- ① 急遽、JURY が不在となった場合

JURY 不在で試合を行う。但し、JURY 不在の場合は、チームはジャッジカンファレンスを行うことはできない。試合進行に必要な業務はゲームコーディネーターが代理で行う。また、緊急事態時の判断及び対応は開催責任者が行う。

- ② 急遽、Vレフェリーが不在となった場合

当該 JURY が Vリーグ機構事務局と連携の上、代理のレフェリーを選定する。

- ③ 急遽、チャレンジレフェリーが不在となった場合（V1 チャレンジ採用時のみ）

当該試合の副審がチャレンジレフェリーを務める

- ④ 急遽、ゲームコーディネーターが不在となった場合

ホームチームのイベント担当責任者が開催責任者と連携の上、代理を務める。

- ⑤ 急遽、JVIMS 担当者が不在となった場合

- a) 3 名しか配置できないケース

ブロック判定補助員の配置を削減する。

- b) 2 名しか配置できないケース

ブロック判定補助員に加え、記録員（バックアップ）を削減する。バックアップは、判定員のコールをボイスレコーダーに録音し対応する。

- c) 1 名しか配置できないケース

判定員のコールをボイスレコーダーに記録し、試合後に入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

4 章 入場者制限付き開催について

d) 1 人も配置できないケース

会場での JVIMS 対応は困難と判断し、試合後に技術情報委員会にて映像を確認し、入力対応を行う。(ライブスコアは実施しない)

(4) クイックモップについて

感染拡大防止と人員削減の観点から、今シーズンもクイックモップは配置しません。フロアモッピングについては、コート上の選手が自分の保持しているタオルで行ってください。

ただし、試合中スライディング等により、選手のタオルで拭ききれない大きなウエットスポットが発生した場合には、主・副審の判断で、ベンチにいる選手又はスタッフによる柄つきモップでのワイピングを認めます。

また、タイムアウト・テクニカルタイムアウト、セット間のインターバルでは、必要に応じて、チームによる柄つきモップを使用してのワイピングを認めます。

(5) サブコートでの練習

- ① サブコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 換気に留意してください

(6) メインコートでの試合前練習

- ① メインコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 審判員はマスクを着用することといたします。

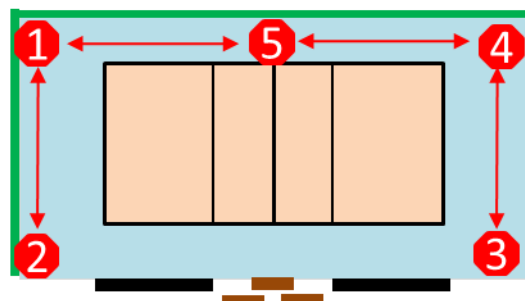
(7) ボールリトリバーについて

ボールリトリバーは競技進行の迅速化の点から、原則、配置してください。各開催地の状況や人員削減の観点から 6 名の配置が困難な場合は配置可能な人数にて対応をお願いします。

- ① 手配可能なボールリトリバーの人数に応じて下記の対応をお願いします。(ボールの受け渡し：↔)

a) 5 名配置できる場合

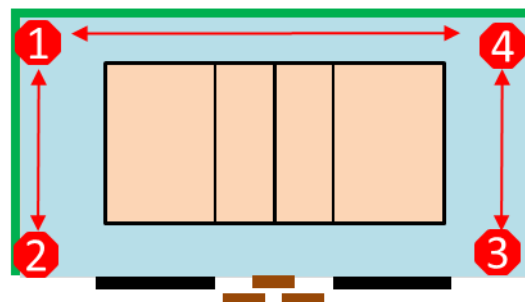
- 1) 5 ボールで運用してください。



4 章 入場者制限付き開催について

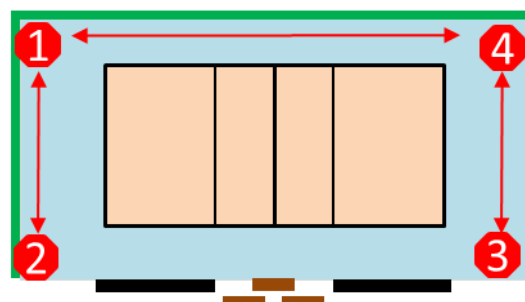
b) 4名配置できる場合

- 1) 5 ボールもしくは3 ボールで運用してください。
- 2) ①⇔④のボールの受け渡しはボールデッド中にお互いは少しずつ移動して確実に受け渡しを行ってください。



c) 3名（もしくは2名）配置できる場合（2名の場合は、①と②の場所に配置）

- 1) 3 ボールで運用してください。
- 2) ①と②のリトリバーが、ボールを1つ保持。
- 3) ボールがフェンスを越えて出た場合は、まずサーバーにボールを渡し、その後回収する。
- 4) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、自チーム側の①または②のリトリバーに交換を求めることができる。



d) ボールリトリバーを1名配置できる場合もしくは不在の場合

- 1) ワンボールで運用してください。
- 2) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、副審に交換を求め、記録席から新しいボールを渡してください。
- 3) ボールフェンスを越えて出た場合は、全て記録席から副審が受け取り、サーバーにボールを渡してください。
- 4) アウトボールはボールリトリバーもしくは競技役員が取りに行き、記録席へ戻してください。

- ② 試合中、ボールリトリバー及びボールを扱う可能性のある役員は、手袋を着用してください。手袋についてはホームチームでご準備をお願いします。また、可能な限りマスク着用を推奨します。
- ③ ボールを拭く際には除菌剤付きのタオル等で拭くようにしてください。また、そのタオルはボール除菌専用とするようにしてください。タオルはホームチームで用意してください。
- ④ コートの四隅にボール用の除菌剤を設置してください。（チームへの除菌剤の配布は調整中。MIKASA CHESSEL を使用する場合は10倍希釈の上ご使用ください。）

(8) 選手入場から試合開始まで

- ① 試合前のイベント→プロトコール→試合開始までの流れは『2021-22 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、次の事項に留意してホームチームが計画してください。

4 章 入場者制限付き開催について

- ✓ 入場時は身体的距離を十分配慮する
 - ✓ キッズエスコートは行わない
 - ✓ 整列時は選手間で適度な距離をとってください
 - ✓ 選手とお客様が直接接触するイベントは行わない
 - ✓ 投げ込み等のプレゼントは行わない
 - ✓ 始球式については認められるが、感染拡大防止策を十分に行った上で実施する
 - ✓ アリーナ上で円陣を組むことは控える
 - ✓ チームの集合写真の撮影は認められるが、選手間、カメラマン間のフィジカルディスタンスには十分配慮すること
- ② 試合前のセレモニーにおいて、審判員は次の事項に留意し、コントロールしてください
- ✓ 選手同士の握手は行わない
 - ✓ 選手とレフェリーの握手は行わない
 - ✓ コイントスは主副審立会にのち両チームのキャプテンにより実施する。但し、身体的距離を保つことを心掛ける
- (9) 競技中の注意事項
- ① 試合中、選手は JVA が定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』に記載されている内容を遵守してください。
 - ② 飲料ボトルの共用を避けてください。たとえ、口が触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性があります。
 - ③ 選手が口をつけ蓋をしたボトル等をクーラーボックス等に戻すことは絶対に避けてください。
 - ④ 得点時のパフォーマンスは可能な限り身体的距離を保って実施してください。
- (10) タイムアウト、TTO、セット間の対応
- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線が混雑しないよう、予め配慮してください。
 - ② コートの補修は通常通り行ってください。
 - ③ コート上でのチアパフォーマンスについては、選手やスタッフとの距離を 2m 以上確保し、実施するようにしてください。
 - ④ セット間にボールの除菌を行ってください。
- (11) 試合終了時のセレモニー
- ① 試合後、選手はエンドライン上に整列し、審判の吹笛の合図で礼を行うが、選手間での握手は行わないこととします。
 - ② チームサポーター席への挨拶については、身体的距離を確保することに留意してください。また、選手間でのハイタッチや、抱擁、握手は行わないでください。
 - ③ 挨拶に移動時は動線が混雑しないように留意してください。

4 章 入場者制限付き開催について

(12) ドーピングコントロール

ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める、『ドーピング検査における新型コロナウイルス対策』に基づき、実施します。

(13) アナリスト席について

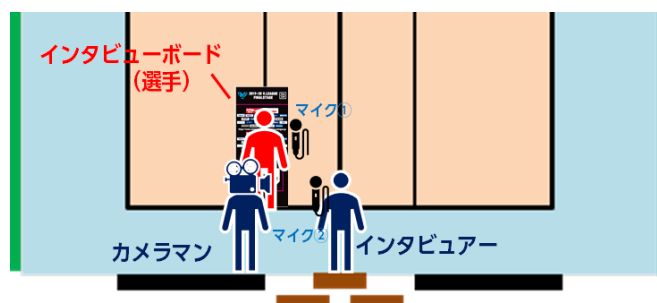
アナリスト席はコートエンド 2 階席の片側に設置してください。（アナリスト席までの移動は極力、お客様の動線は避けて移動していただくようお願いいたします。また、アナリスト席エリアでの不要な移動や出入りを極力制限していただくようお願いいたします。）

(14) 勝利者インタビューについて

- ① インタビューの位置は昨年と同様にホームチームが決定してください。
- ② 勝利者インタビュー用のマイクが会場用、配信用それぞれ 2 セット準備できる場合と、1 セットしか準備できない場合で異なる対応をお願いいたします。
- ③ 使用前、使用後は必要に応じてマイクの消毒をお願いいたします。
- ④ カメラマンは距離を確保の上、選手と正対した位置からの撮影を行います。

<マイクを 2 セット以上準備できる場合>

- 1) インタビュアーは記録席前など選手と離れた位置から質問をお願いします。（正対する場合は 4 ～ 5 m の距離を取ってください）



<マイクを 1 セットしか準備できない場合>

- 1) インタビュアーと選手は横並びに並んで同じ方向を向いて話してください（両者間は 2m 以上離れる）
- 2) インタビューマイクはインタビュアーが発言した後に選手にマイクを手渡していただき、選手が発言する形式でお願いします。



8. ファン・チームサポーターへの対応

(1) ファン・チームサポーターへの事前案内

会場に来場予定のファンの皆さま、チームサポーターの皆さまには事前に次の点のご案内をお願いします。

Vリーグ機構のお客様への案内ページからリンクをとっていただく形でも可。

【Vリーグ機構公式サイト】 <https://www.vleague.jp/covid19/restart.html>

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 入場時にお客様の体温を測定させていただき、37.5 度以上ある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場できませんので、予めご了承ください。
- ③ 上記の場合でも、チケットの払い戻し等の対応はいたしかねますので予めご了承ください。
- ④ アリーナでのマスクの配布はございませんので、各自ご準備ください。
- ⑤ アリーナでは身体的距離を確保するようにしてください。
- ⑥ 手洗い・消毒などをこまめに実施してください。アリーナ内設置の消毒液をご利用ください。
- ⑦ 観戦時は座席から移動することを禁止します。
- ⑧ アリーナ外でも身体的距離の確保はもとより、大声での発声、歌唱や声援、密集の形成など、観戦リスクのある行為は控えてください。
- ⑨ 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）及び各地域で指定された通知サービスをご使用ください。（必要に応じて各アプリケーションの QR コードを掲示するなどお客様への周知を行ってください。）
 - ※ 携帯電話の使用を控える場面では、接触確認アプリ（COCOA）を機能させるため、「電源を on にした上で、マナーモードにすること」を推奨します

(2) 応援スタイルについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ファン・チームサポーターの皆さまのご理解とご協力をお願いします。

違反者に対しては大会運営スタッフより個別に注意いただくなどご対応をお願いいたします。

【容認される行為と禁止される行為】

容認する行為	
拍手（発声を誘発しない範囲で）	
禁止する行為	
声を出しての応援	歌を歌うなどの応援、指笛

4 章 入場者制限付き開催について

チアスティックを用いての応援	タオルマフラー・大団旗などを振るもしくは回す
ハイタッチ、肩を組んでの応援	トラメガ、メガホンの使用
選手の出待ち	ビッグフラッグ（但し、掲出のみであれば OK）
応援幕等の会場内への持ち込みと掲示	選手・スタッフへの直接のプレゼント

(3) お客様への注意喚起のお願い

- ① 「大声を上げて応援する方」等、禁止事項に該当するような応援スタイルで応援をされるお客様がいる場合は必要に応じて、アナウンスを行うなど注意喚起を行ってください。

(4) ファン・チームサポーターの入退場時の対応

- ① お客様の会場入場時及び退場時には、密の発生を避けるために席種別の入場及び席種別の退場を行うことを推奨いたします。

(5) ガイドライン遵守の旨の公表について

- ① 開催にあたって、ホームチームは本ガイドライン及び自治体、施設のガイドラインに従って、新型コロナウイルス感染拡大対策の取組みを行う旨を HP 等で公表し、お客様が安心して会場に観戦に来ることができるよう努めてください。

9. 報道関係者・中継制作等の対応

(1) 来場者への事前案内

会場で取材予定の報道関係者には事前に次の点についてご案内をお願いします。チーム広報として来場する方については、チーム広報用 AD を配布するチームが責任を持って管理してください。

- ① 各社必要最低限の来場数とするようご協力をお願いいたします。
- ② Vリーグ機構が指定する健康チェックシートを記入し、来場時に報道関係者受付に提出ください。
- ③ 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えください。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ④ 入場時の検温にご協力ください。体温が 37.5 度以上ある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場できません。
- ⑤ アリーナ内では常に正しくマスクを着用し、身体的距離（2m、最低でも 1m）をとってください。また、指定されたエリアや動線を順守してください。
- ⑥ 手洗いや手指消毒をこまめに行ってください。握手や抱擁などは行わないでください。

4 章 入場者制限付き開催について

(2) 会場のゾーニングと動線

- ① 密を避けるため、プレスルームは設けず、アリーナ内の記者席をご案内ください。ただし、テレビカメラとスチールカメラの申請数に応じて、荷物置き用の部屋を設けることを推奨します。
- ② 項番 3 の考え方に則り、ゾーン 1（競技関連）およびゾーン 3（お客様）と分離するよう、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

(3) 取材申請手続き

- ① 来場する全ての報道関係者に対し、事前申請を必須とします（公認報道関係者を除き、申請期日と申請方法は運営マニュアルの記載より変更はありません）。ホームチームは、関係者サイトより出力した「取材申請リスト」に、公認報道関係者とチーム広報の情報を追記し、報道関係者受付に設置して下さい。

報道関係者	申請期日	申請方法
公認報道関係者	大会開催日の 4 日前まで	公認報道関係者申請の際に申告された取材日程を Vリーグ機構で取り纏め、該当するホームチームへ連携する。取材日程の追加を希望する場合は、左記期日までに Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請。
一般報道関係者	大会開催日の 4 日前まで	Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請
チーム広報	大会開催日の 4 日前まで	関係者サイト「遠征計画申請」より申請

- ② 記者席またはカメラマンエリア内で身体的距離（2m、最低でも 1m）を確保できるよう制限を設け、制限数の範囲内で取材を受け付けてください。取材を受け付けられない場合は、運営マニュアルに則り大会開催日の前日までに対象の報道関係者まで連絡してください。
- ③ ペン記者については、記者席の座席を指定し把握できるようにしてください。座席を指定する際には、項番 2「チケット販売の考え方」を参考に、身体的距離を確保できる席割を検討してください。カメラマンについては、(4)-③を参照ください。

(4) 大会当日の対応

① 報道関係者受付

- ☐ 会場での受付開始時刻は、リーグオフィシャルカメラマンを除き試合開始の 60 分前とします。
- ☐ 受付時に検温を行い、体温が 37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は会場での取材活動をお断りしてください。
- ☐ 名刺を置いていただく箱等を用意し、直接的な授受は避けてください。「取材申請リスト」に掲載されている方が、入場の対象となります。名刺を「取材申請リスト」と突合し、チェックしてください。（「報道関係者受付名簿」は使用しません。）
- ☐ AD やビブスは報道関係者側に向けて机の上に置き、自ら取っていただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。

4 章 入場者制限付き開催について

- 記者席の座席位置と、プレスルームの使用ができないことを案内し、受付完了後に速やかに移動いただくください。

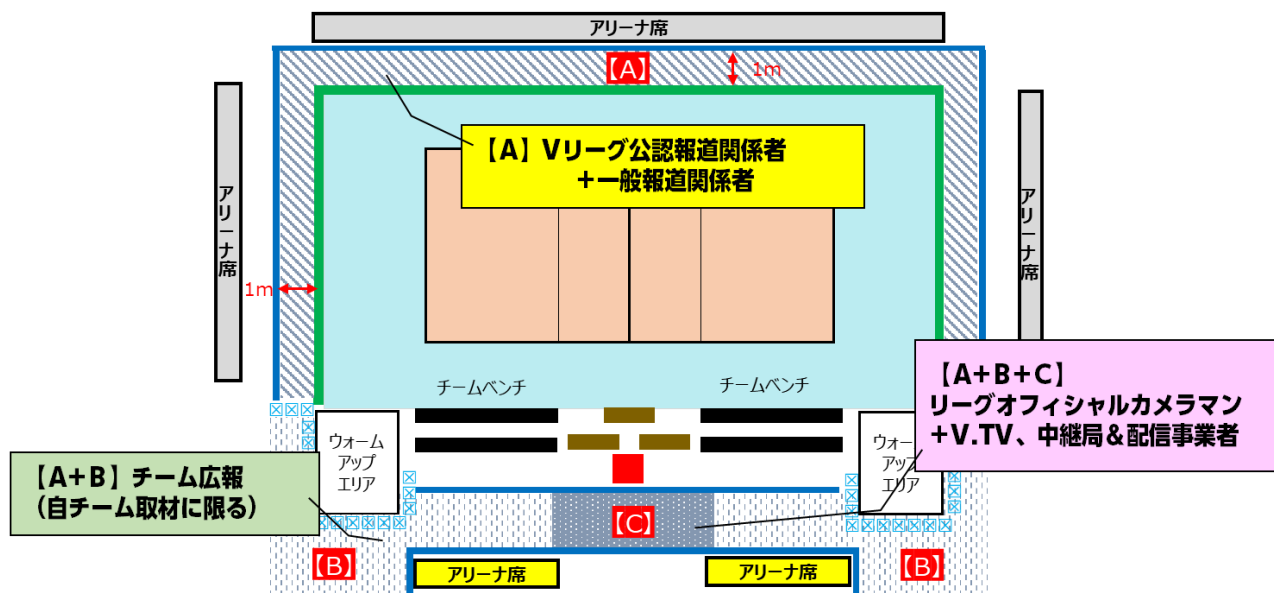
② 記者席

- 報道用回線（Wi-Fi）と電源を準備することを推奨します。
- インタビューリクエスト用紙は所定の BOX へ提出いただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。WEB フォーム作成ツール等を利用したオンライン対応を推奨します。

③ カメラマンエリア

TV カメラおよびスチールカメラのエリア区分は下記のとおりとします。【A】～【C】の区分は、関連資料「カメラマン取材可能エリア（アリーナレベル）」と対応しておりますので、本項に記載の無い事項は関連資料を参照ください。

- ✓ 撮影エリアは、ベンチ裏を除く 3 辺（主審側サイドラインと両エンド）とします。各大会の広報担当者は、身体的距離を確保できるよう撮影位置の間隔を指示してください。リーグオフィシャルカメラマンとチーム広報を除き、撮影者（カメラマン）はいかなる場合であっても、副審側サイドラインエリアに立ち入ることを禁止します。
- ✓ 予めカメラマンの位置を指定し、撮影場所を把握できるようにしておくことを推奨します。
- ✓ 試合中の撮影位置の移動は、試合間またはセット間のみ可能とし、その他は禁止してください。
- ✓ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマンによる、副審後方（JURY 席付近）エリアでの撮影については④を参照ください。

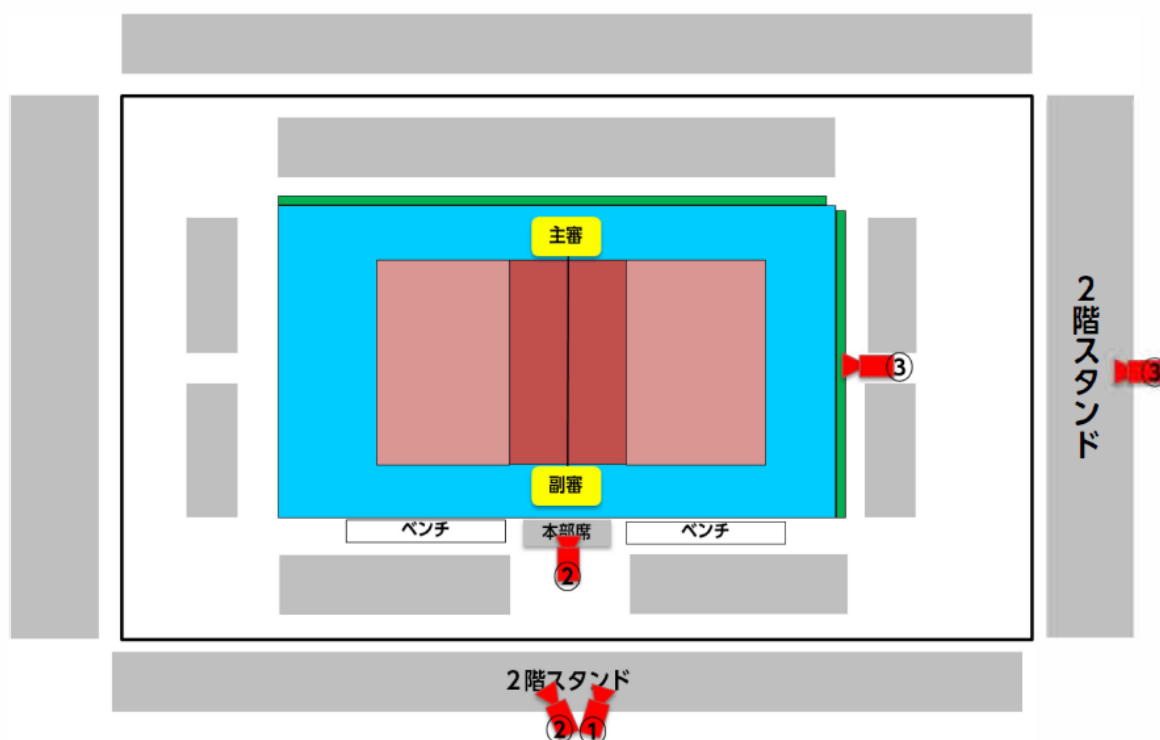


4 章 入場者制限付き開催について

④ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマン

- V.TV 中継スタッフおよび放映権を取得したパートナーは Vリーグ機構が指定する健康チェックシートを記入し、入館時に関係者受付へ提出いただきます。直近 2 週間の体調不良や濃厚接触者の有無等について確認し、該当者がいた場合は該当しないスタッフに対応いただくよう要請してください。
- 会場への入館時に検温を行い、37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場不可としてください。
- 会場内ではマスクの着用を必須とし、手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください
- 会場内では身体的距離（2m、最低でも 1m）を保ち、ゾーン 1 にアクセスする人数を制限する。
- V.TV のカメラ位置は下記のとおりとし、変更がある場合、Vリーグ機構は事前にホームチームへ連絡する。
その他の放映権を取得したパートナーは、事前にホームチームへスタッフ数およびカメラ位置を申請する。
ホームチームはパートナーのカメラ位置を把握し、必要に応じて変更要請を行ってください。

■ V.TV 配信時の原則的なカメラ位置



- 原則、被写体から 2m 以上離れて撮影してください。
- 試合前のイベントや入場セレモニーのコート内の撮影については、試合中継局、配信会社、リーグオフィシャルカメラマン、チーム広報のみ撮影を可能とってください。
- 勝利者インタビューは、対象者から 2m 以上離れて撮影してください。インタビュアーも身体的距離を保ち、正対を避け、解説席など離れた位置からの対応を推奨してください。また、選手とインタビュアーのマイクは必ず分け、必要に応じて消毒した上で選手に渡してください。

4 章 入場者制限付き開催について

- 観戦席やアリーナ外等の密が発生することが想定されるエリアでの撮影は自粛してください。

⑤ 試合終了後

- 記者会見を含む監督および選手への取材は、対面では行わず WEB 方式で対応することを推奨します。対面で行う場合は、下記の点に留意してください。
 - ✓ 換気の良い広い部屋をインタビュールームに割り当て、監督・選手と報道関係者が少なくとも 2m、報道関係者同士が身体的距離（2m、最低でも 1m）を保てるようにしてください。アリーナ上で行うことを推奨します。
 - ✓ 監督・選手がインタビュールームへ移動する際に、一般観戦者や報道関係者と動線が重ならないよう設定（一時的に通路を封鎖する等も可）してください。監督・選手と報道関係者が異なる出入口を使用することを推奨しますが、難しい場合は全ての報道関係者が入室した後で監督・選手が入場し、会見後は監督・選手が先に退室するよう案内してください。
 - ✓ 会見の司会者は、冒頭に参加者に断ったうえで、マスクを着用したまま進行してください。また、参加者にも常にマスクを着用いただくよう周知してください。
 - ✓ 監督・選手と報道関係者の間にアクリルボード等の遮蔽物を配置する場合を除き、監督・選手は会見中もマスクを着用してください。司会者は、監督・選手がマスクを着用し対応する旨を冒頭に参加者に断ってください。
 - ✓ 会見対象の選手数分のマイクを用意し、選手間でマイクを回さないようにすることを推奨します。監督会見と選手会見の間には、マイクを消毒してください。
- 選手や監督、チームスタッフへのぶら下がり取材は禁止とします。
- すべての報道関係者は、最終試合の会見終了後 1 時間以内に会場を退出いただきます。
- 報道関係者受付で回収した「健康チェックシート」は、大会終了後 2 週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2 週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）してください。チェック済みの「取材申請リスト（コピーでも可）」は Vリーグ機構へ送付してください。

4 章 入場者制限付き開催について

(5) 報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等の AD 申請及び事前申請/入館確認方法

前記を踏まえて、報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等の AD 申請及び事前申請/入館確認方法について下記にまとめます。ご対応のほど、お願いいたします。

	AD 種別	事前申請/入館の確認方法	検査実施	健康チェックシート提出先
V.TV 中継スタッフ	Vリーグ機構発行 (PARTNER)	関係協力社来場申請 リスト (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局 (全国)	自社発行 (自社ロゴ等)	関係協力社来場申請 リスト (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局 (ローカル)	ホームチーム発行	ホームチームにて管理	任意	関係者受付
リーグオフィシャル カメラマン	Vリーグ機構発行 (OFFICIAL)	派遣通知 (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
チーム広報	Vリーグ機構発行 (TEAM PRESS)	関係者サイト 「遠征計画申請」	任意 (チーム管理)	報道関係者受付
公認報道関係者	Vリーグ機構発行 (PRESS)	関係者サイト 「Vリーグ関連フォーマット>9 広報」	任意	報道関係者受付
一般報道関係者	ホームチーム発行	関係者サイト 「取材管理申請」	任意	報道関係者受付

10. 試合会場の設営及び撤去

(1) 設営及び撤去に関わってくださる全事業者に求められる事項

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ③ 身体的距離（2m、最低でも 1 m）を確保する
- ④ マスクを着用する
- ⑤ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

(2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割

新型コロナウイルス対策責任者は試合会場の設営・撤去が適切に行われているかチェックしてください。

(3) 試合日以外に設営作業を行う場合

- ① 作業開始前に体温を測定し、37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は参加できません。
- ② 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。
 - ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。
- ③ 作業に参加される方も健康チェックシートの新型コロナウイルス対策責任者へのご提出をお願いします。
- ④ 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置してください。
- ⑤ 設営・撤去中は定期的に窓や扉を開けるなど換気を行ってください。

(4) 撤去作業

予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。

- ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。

(5) ゴミなどの廃棄について

- ① 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってください。
- ② ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。

11. 大会前後の行動管理

(1) 大会前後の行動管理について

- ① 全ての関係者（Vリーグ機構役員・チーム関係者・大会運営スタッフ）は大会の2週間前及び2週間後は健康状態をモニターいただき、異変があった場合はすぐに医療機関を受診いただくようお願いします。
- ② 大会開催日及び準備日の公共交通機関を使用した移動の際は他者と分散した位置で利用するなど、それぞれが分かれて行動いただくようお願いします。
- ③ 飲食店等の利用についても、他者と同一の飲食店を利用することは極力避けてください。やむを得ない場合でも、利用時間の分散と着席位置を分散し、身体的距離の確保をお願いします。
- ④ 上記①～③については、全てのスタッフに周知するとともに、お客様に対しても場内アナウンスや配布物を通じて周知を行ってください。

5章 リモートマッチの開催について

1. リモートマッチの考え方

リモートマッチ（無観客試合）を開催せざるを得ない状況は即ち、新型コロナウイルスの感染が拡大し日本全国もしくは開催地域に大きな影響を及ぼしている状況を意味します。開催にあたっては次の事項を念頭に置くことが求められます。

- ① チーム関係者・大会関係スタッフの人員を少なくすることで、感染リスクを抑える。
- ② ゾーン分けをしておくことで、感染者が発生した際の影響範囲を限定する。
- ③ 特に選手、チームスタッフと接触する人数を最小化する。
- ④ まずは、予定していた試合を開催し、終了することを最優先する。
- ⑤ 会場に来ることのできないお客様は中継及び配信を通じてのみ試合を観戦される。

2. アリーナのゾーニング

（1）会場のゾーニングと動線の考え方

会場のゾーニングにあたっては、各ゾーンの人数を限定することで感染リスクを抑えることと、ゾーニングを徹底することで感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。会場のゾーニングと動線づくりは、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

ゾーン1：競技関連

- ✓ コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア周辺
- ✓ 選手入場口
- ✓ 選手及びJURY、審判員の控室

ゾーン2：大会運営スタッフ&プレス関連

- ✓ 運営スタッフ控室
- ✓ プレスルーム
- ✓ プレス席

ゾーン3：その他エリア

- ✓ スタンド
- ✓ コンコース

各エリアのゾーニングを明確化し、ゾーンごとの動線を設定し、人と人との接触を限定してください。特に「ゾーン1」に入ることができるスタッフの人員を必要最低限に限定いただき、「ゾーン1」で必要な業務については非感染検査を受診しているスタッフを中心に実施していただくようお願いいたします。

5 章 リモートマッチの開催について

非感染検査を受診していないスタッフが「ゾーン1」で活動する場合はマスクの着用を必須とし、その他の感染拡大防止対策を実施の上、「ゾーン1」で活動いただくようお願いいたします。（マスクの着用と感染拡大防止策の実施は「ゾーン2」、「ゾーン3」でも同様に必要となります）

（2）来場者の管理

ホームチームは予め、チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ及び招待者の一覧表を作り当日の管理を行ってください。

- ① 全員の来場時刻及び退場時刻を記録しておいてください
- ② 感染者が発生する場合に備えて、来場者全員の連絡先を把握しておいてください
- ③ Vリーグ機構の関係協力社の来場情報は、大会の3日前までに「関係協力社来場者リスト」にてご連絡いたします
- ④ 大会参加チームと事前にコミュニケーションをとり、チーム関係者の来場に関する情報を確認した上で大会を迎えてください

（3）来場が可能な方

- ① 出場チーム登録選手・登録スタッフ
- ② 出場チーム登録外スタッフ・チーム関係者（1チーム10名以内とする）
- ③ ホームゲーム大会運営スタッフ（必要最低限とする）
- ④ Vリーグ機構役員（必要最低限とする）
- ⑤ Vリーグ機構スポンサー（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑥ ホームチームスポンサー（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑦ 来賓（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑧ 出場チームサポーター（応援リーダー等1チーム2名まで）
- ⑨ マスコット
- ⑩ チアリーダー
- ⑪ 報道関係者
- ⑫ 中継スタッフ
- ⑬ 上記以外に必要と認められる者

※ 大会運営スタッフについては必要最低限の人員にてお願いします。

※ 出場チーム以外のアナリストが来場することも控えてください。

※ リモートマッチにせざるを得ない状況を理解していただき、来賓等の来場者の来場も可能な限り来場を控えていただくよう理解を求めてください。

5 章 リモートマッチの開催について

3. 会場運営

- (1) 来場者全員（チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会関係スタッフ）に求められること
 - ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。
 - ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
 - ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
 - ④ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する
 - ⑤ マスクを正しく着用する
 - ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。
- (2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割
 - ① 対策責任者はガイドラインに沿った対策が行われているかチェックし、改善を指示してください。
- (3) アリーナの衛生管理
 - ① 使用する全ての諸室に消毒液を設置してください。
 - ② トイレには、手をふくための使い捨てペーパータオルを用意することを推奨します。また、手洗い場には、石鹸（ポンプ式）を用意してください。
 - ③ チーム到着前に、チームが使用を予定する全ての箇所を消毒してください（直近3日間で使用されていない場合は不要）。
 - ④ アリーナ内でVリーグ関係者で占有できないエリア（Vリーグ関係以外の方の往来がある箇所）については、施設管理者と共同の上、必要に応じて消毒を行っていただくようお願いします。
 - ⑤ 試合前、タイムアウト時、セット間、試合間にはこまめにドアや窓を開け換気を実施していただくようお願いします。
- (4) アリーナへの入退場の管理（チーム関係者・大会役員・関係者・プレスほか）
 - ① 入場時に体温を測定し、37.5度以上の場合（37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む）は入場をお断りしてください。
 - ※ Vリーグ機構よりサーモメーターは会場演出ツールとともに持ち回ります（1会場あたり4台）
 - ※ 検温の方法は「入場者制限付き開催」の考え方への対応と同じです。
 - ② 来場者名簿を利用して、来場時刻と退場時刻を管理してください。
 - ③ 来場者全員の健康チェックシートの提出を求めてください。
 - ④ 全ての入口に消毒液を設置してください。

5 章 リモートマッチの開催について

(5) エアコンの使用と換気について

- ① 秋～春に開催する Vリーグでは防寒のためにエアコンの使用は必須となります。しかし、エアコンの風によって新型コロナウイルスの感染が広がる事例が報告されています。エアコンの使用時間は時間を区切って限定的に使用すること、定期的な場内の換気を実施していただくよう、お願いします。
- ② 試合会場に関わらず、控室、プレスルーム、トイレなど全ての部屋の換気を定期的に実施していただくよう、お願いします。
※ 厚生労働省によると、
 - iii. 窓による換気は 1 時間に 2 回以上、数分間の換気を行うこと
 - iv. 空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は二方向の壁の窓を開放することが推奨されています。
- ③ 必要に応じ、CO2 測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし 1000ppm 以下（※）を維持することも望ましい。（※機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。）
- ④ 乾燥する場面では、湿度 40%以上を目安に加湿することを推奨します。

(6) 喫煙所の設置について

- ① 喫煙所は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。
 - ✓ 設置時間を限定して、屋外に設置していただくことが望ましい。
 - ✓ 設置にあたっては、人数制限を行うなど、身体的距離に配慮してください。
 - ✓ マスクを外しての会話は控えるよう注意喚起を行ってください。

(7) Vリーグ機構会場持ち込み演出ツールについて

- ① Vリーグ機構持ち込みの演出ツールについては、複数会場を持ち回り使用する物品となります。ついては、使用の間隔が 3 日以内の場合、その都度、消毒してください。
- ② 2021-22 シーズンは、従来、Vリーグ機構が持ち回りを行っていた、下記の物品の持ち回りは行いません。
 - a) Vリーグロゴ入り装飾用横断幕（片面/両面）
 - b) Vリーグロゴ入りのぼり
 - ※ 貸与を希望するチームには、横断幕とのぼりの貸出をさせていただきます。
 - c) 投げ込み用マスコットボール
 - d) 大型 LED ビジョン（V1 のみ）
 - ※ V1 チームは手めくり得点版を 2 基ご準備いただきますようお願いいたします。
 - e) タラフレックス・カラーコート の敷設（V1 のみ）
 - f) 諸室表示（デザインは関係者サイトにアップロード）

(8) 応援幕の掲示について

応援幕・応援旗の掲示については、チーム（ホームチーム、アウェイチームを問わず）の責任管理下でチームが持ち込み、掲示を行う幕・旗のみ掲示を行うことを許容します。（ホームチームがホームチームの責任管理下でローカスポンサーのバナーを掲示することも可）。

5 章 リモートマッチの開催について

(9) イベントについて

- ① イベントを開催する場合は身体的距離に十分配慮してください。
- ② イベント実施において、飛沫拡散を防止に努めてください。
- ③ チアリーダーの応援について
 - ✓ チアリーダーがフロア上で演技を行う場合は、選手やスタッフとの距離を 2m 以上確保し、実施するようにしてください。
 - ✓ チアリーダーの客席及びスタンドでの応援は他の来場者から離れた位置で、発声を誘発しない範囲で実施することは許容されます。
- ④ マスコットの来場及び起用について
 - ✓ マスコットがフロア上でパフォーマンスを行う場合は、選手やスタッフとの距離を 2m 以上確保し、実施するようにしてください。
 - ✓ マスコットの客席及びスタンドでの応援は他の来場者から離れた位置で、発声を誘発しない範囲で実施することは許容されます。

(10) 選手のアリーナへの入退場時の対応について

- ① 選手・スタッフのゾーン 2（大会運営スタッフ&プレス関連エリア）への立ち入りは記者会見等の必要時以外は一切行わないでください。また、ゾーン 3 への立ち入りは一切行わないでください。
- ② ファンの皆さまには感染拡大防止の観点からも、選手の出待ち等の行為は行えないことを周知してください。
- ③ 大会関係スタッフは選手・チームスタッフのアリーナの入退場時には、ローピングするなどして幅 3 メートル以上の動線を作りお客様とチーム関係者の接触を避けるとともに、身体的距離を確保してください。

4. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について

(1) アリーナへの移動

① チーム関係者のバス移動

チーム関係者はバス移動に際して、以下の点に留意してください。

- ✓ 正しくマスクを着用する
- ✓ 複数台に分乗するなど、選手間の距離を空けることを検討する
- ✓ 車内の換気に留意する。1 時間に複数回の換気を行う

② 派遣役員の移動について

派遣役員のアリーナへの移動は公共交通機関の利用を原則とするが、感染拡大防止の観点から、自家用車への移動を許容します。自家用車で移動を希望する場合は、旅費申請時にその旨、事務局に届け出てください。ホームチームは事務局からの要請があった場合は、駐車場の確保にご協力をお願いします。

(2) 試合当日の体温測定

- ① チーム関係者、派遣役員ともに試合当日の体温測定は必ず実施してください。

5 章 リモートマッチの開催について

- ② 37.5 度以上の発熱があった場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は、次の通りに処置してください。

- ✓ タクシー等で自宅またはホテルに送り出す
- ✓ ホームチームの対策責任者及び JURY に報告する
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、会場ドクターもしくは保健師に相談の上、診療・検査等の適切な処置をとる
- ✓ 疑いが無い場合は適切に経過観察を行う。

(3) チーム及び派遣役員全員に求められること

- ① 大会の少なくとも 2 週間前から健康状態を確認してください。
- ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ④ 身体的距離（2m、最低でも 1 m）を確保する
- ⑤ 正しくマスクを着用する
- ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

(4) 更衣室

- ① 更衣室も身体的距離を確保してください。
 - ✓ 更衣室の利用時間をずらすなどチーム内、派遣役員内で工夫してください
- ② 更衣室の滞在時間を極力減らしてください。
- ③ タオル・スクイズボトル・ペットボトルなどは共用しないでください。
- ④ シャワーは一人ずつ間隔を空けて使用することを原則としてください。使用者の人数が多い場合は時間をずらして使用してください。

(5) 選手の治癒・マッサージ

- ① トレーナーはマスク・手指消毒などの予防策をとった上で対応してください。
- ② 使用する器具も必ず消毒を行ってください。
- ③ 外傷に伴う処置を行う場合は、手指消毒・マスク/手袋着用（自身を守る）を実施し対応してください。

(6) 健康チェックシートの提出について

- ① 会場に来場する全てのチーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフは試合日・設営日に関わらず受付にて健康チェックシートの提出をお願いします。
- ② 新型コロナウイルス対策責任者は、全ての関係者の健康チェックシートの提出が行われているか、体調に問

5 章 リモートマッチの開催について

題無いかの確認をお願いします。

(対策責任者 1 人で全ての確認を行うことは不可能ですので、対策責任者の責任下でスタッフの方と分担していただき、実施をお願いいたします。)

- ③ 健康チェックシートについては、大会終了後 2 週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2 週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。ホームチームでの破棄難しい場合は、Vリーグ機構への送付をお願いします。

5. 競技について

(1) チームベンチ及びウォームアップエリアについて

【原則事項】

競技エリアのレイアウトは入場者制限付き開催に準じてご調整ください。会場の広さや要件によってはレイアウトを変更していただいても結構ですが、その場合でもゾーン区分の考え方は遵守してください。

- ① チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1 席分を空けて座ってください。
- ② ベンチは 2 列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ③ ウォームアップエリアについては、フィジカルディスタンス確保の観点から、4 m× 4 mの広さ（正方形での確保ができれば 16 m²）を確保してください。
- ④ ゾーニング確保の観点からチャレンジテーブルは原則 JURY テーブル後方に配置する。
- ⑤ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。但し、監督が立ち上がってコート内の選手に指示を送る場合はマスクを外してよい。
- ⑥ ベンチ内、ウォームアップエリア内では不要な会話・接触を避けてください。

(2) 競技用具及び競技備品の消毒

- ① 競技用具及び会場備品については、JVA が定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』を参考に消毒を行ってください（直近 3 日間で使用されていない場合は不要）。

JVA 『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』

https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/JVAguideline_20210305.pdf

- ② Vリーグ機構持ち込み物品については、複数会場で持ち回り使用する物品となります。直近 3 日間で使用されている物品は使用前に必ず消毒を行ってください。

(3) 競技関係役員不在時の対応について

競技に関わる役員については『2021-22 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、Vリーグ機構から派遣ならびにホームチームが手配を行ってください。しかし、従事予定であった役員が新型コロナウイルスに感染、疑い、濃厚接触その他、体調不良などの理由により、予定の職務に従事できなくなり、かつ、人員の補充等ができなくなった場合は、下記の対応により試合開催を優先する。

5 章 リモートマッチの開催について

① 急遽、JURY が不在となった場合

JURY 不在で試合を行う。但し、JURY 不在の場合は、チームはジャッジカンファレンスを行うことはできない。試合進行に必要な業務はゲームコーディネーターが代理で行う。また、緊急事態時の判断及び対応は開催責任者が行う。

② 急遽、V レフェリーが不在となった場合

当該 JURY が V リーグ機構事務局と連携の上、代理のレフェリーを選定する。

③ 急遽、チャレンジレフェリーが不在となった場合（V1 チャレンジ採用時のみ）

当該試合の副審がチャレンジレフェリーを務める

④ 急遽、ゲームコーディネーターが不在となった場合

ホームチームのイベント担当責任者が開催責任者と連携の上、代理を務める。

⑤ 急遽、JVIMS 担当者が不在となった場合

a) 3 名しか配置できないケース

ブロック判定補助員の配置を削減する。

b) 2 名しか配置できないケース

ブロック判定補助員に加え、記録員（バックアップ）を削減する。バックアップは、判定員のコールをボイスレコーダーに録音し対応する。

c) 1 名しか配置できないケース

判定員のコールをボイスレコーダーに記録し、試合後に入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

d) 1 人も配置できないケース

会場での JVIMS 対応は困難と判断し、試合後に技術情報委員会にて映像を確認し、入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

(4) クイックモップについて

感染拡大防止と人員削減の観点から、今シーズンもクイックモップは配置しません。フロアモッピングについては、コート上の選手が自分の保持しているタオルで行ってください。

ただし、試合中スライディング等により、選手のタオルで拭ききれない大きなウェットスポットが発生した場合には、主・副審の判断で、ベンチにいる選手又はスタッフによる柄つきモップでのワイピングを認めます。

また、タイムアウト・テクニカルタイムアウト、セット間のインターバルでは、必要に応じて、チームによる柄つきモップを使用してのワイピングを認めます。

(5) サブコートでの練習

① サブコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。

② 換気に留意してください

5 章 リモートマッチの開催について

(6) メインコートでの試合前練習

- ① メインコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 審判員はマスクを着用することといたします。

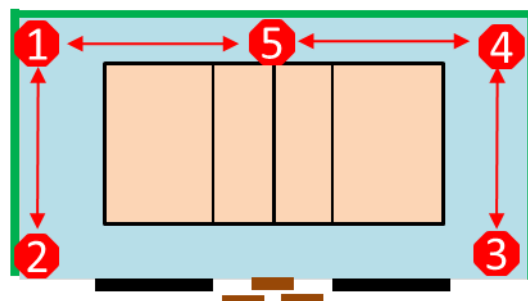
(7) ボールリトリバーについて

ボールリトリバーは競技進行の迅速化の点から、原則、配置してください。各開催地の状況や人員削減の観点から6名の配置が困難な場合は配置可能な人数にて対応をお願いします。

- ① 手配可能なボールリトリバーの人数に応じて下記の対応をお願いします。(ボールの受け渡し：↔)

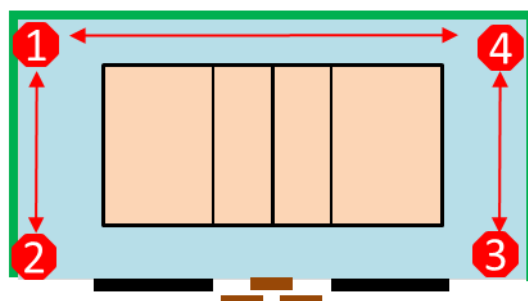
a) 5名配置できる場合

- 1) 5ボールで運用してください。



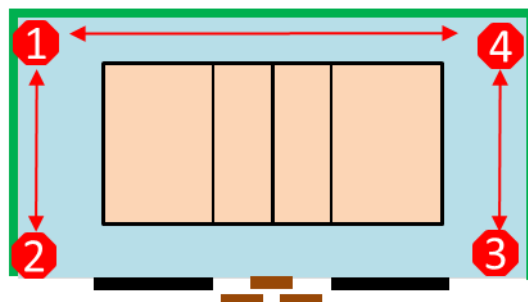
b) 4名配置できる場合

- 1) 5ボールもしくは3ボールで運用してください。
- 2) ①↔④のボールの受け渡しはボールデッド中にお互いは少しずつ移動して確実に受け渡しを行ってください。



c) 3名（もしくは2名）配置できる場合（2名の場合は、①と②の場所に配置）

- 1) 3ボールで運用してください。
- 2) ①と②のリトリバーが、ボールを1つ保持。
- 3) ボールがフェンスを越えて出た場合は、まずサーバーにボールを渡し、その後回収する。
- 4) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、自チーム側の①または②のリトリバーに交換を求めることができる。



5 章 リモートマッチの開催について

- d) ボールリトリバーを1名配置できる場合もしくは不在の場合
 - 1) ワンボールで運用してください。
 - 2) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、副審に交換を求め、記録席から新しいボールを渡してください。
 - 3) ボールフェンスを越えて出た場合は、全て記録席から副審が受け取り、サーバーにボールを渡してください。
 - 4) アウトボールはボールリトリバーもしくは競技役員が取りに行き、記録席へ戻してください。
 - ② 試合中、ボールリトリバー及びボールを扱う可能性のある役員は、必ず手袋を着用してください。手袋についてはホームチームでご準備をお願いします。また、可能な限りマスク着用を推奨します。
 - ③ ボールを拭く際には除菌剤付きのタオル等で拭くようにしてください。また、そのタオルはボール除菌専用とするようにしてください。タオルはホームチームで用意をしてください。
 - ④ コートの四隅にボール用の除菌剤を設置してください。（チームへの除菌剤の配布は調整中。MIKASA CHESSELを使用する場合は10倍希釈の上ご使用ください。）
- (8) 選手入場から試合開始まで
- ① 試合前のイベント→プロトコール→試合開始までの流れは『2021-22 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、次の事項に留意してホームチームが計画してください。
 - ✓ 入場時は身体的距離を十分配慮する
 - ✓ キッズエスコートは行わない
 - ✓ 始球式は原則、実施しない
 - ✓ 整列時は選手同士で適度な距離をとってください
 - ✓ アリーナ上で円陣を組むことは行わない
 - ✓ チームの集合写真の撮影は認められるが、選手間、カメラマン間のフィジカルディスタンスには十分配慮すること
 - ② 試合前のセレモニーにおいて、審判員は次の事項に留意し、コントロールしてください
 - ✓ 選手同士の握手は行わない
 - ✓ 選手とレフェリーの握手は行わない
 - ✓ コイントスは主副審立会にのもと両チームのキャプテンにより実施する。但し、身体的距離を保つことを心掛ける
- (9) 競技中の注意事項
- ① 試合中、選手はJVAが定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』に記載されている内容を遵守してください。
 - ② 飲料ボトルの共用を避けてください。たとえ、口が触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性があります。
 - ③ 選手が口をつけ蓋をしたボトル等をクーラーボックス等に戻すことは絶対に避けてください。

5 章 リモートマッチの開催について

- ④ 得点時のパフォーマンスは可能な限り身体的距離を保って実施してください。

(10) タイムアウト、TTO、セット間の対応

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線及びモッパの動線が混雑しないよう、予め配慮してください
- ② コートの補修は通常通り行ってください。
- ③ コート上でのチアパフォーマンスについては、選手やスタッフとの距離を 2m以上確保し、実施するようにしてください。
- ④ セット間にボールの除菌を行ってください。

(11) 試合終了時のセレモニー

- ① 試合後、選手はエンドライン上に整列し、審判の吹笛の合図で礼を行うが、選手間での握手は行わないこととします。
- ② 中継を通じて観戦しているファンの皆さまへ挨拶する場合は、身体的距離を確保することに留意してください。また、選手間でのハイタッチや、抱擁、握手は行わないでください。
- ③ 挨拶に移動時は動線が混雑しないように留意してください。

(12) ドーピングコントロール

ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める、『ドーピング検査における新型コロナウイルス対策』に基づき、実施します。

(13) 勝利者インタビューについて

- ① リモートマッチの場合でも勝利者インタビューは必ず行ってください。
- ② インタビューの際には報道関係者にもインタビュー内容を提供できるように、必ず、会場用マイクと配信用マイクを用いて行ってください。
- ③ 実施方法は「入場者制限付き開催」の考え方と同様です。

6. アリーナ外でのファン・サポーターの集結を防ぐ

(1) ファン・サポーターへの事前案内

リモートマッチ開催にあたっては、次の事項をファン及びチームサポーターの皆さまに事前案内してください。

- ☐ アリーナまたはその周辺に来場しないでください
- ☐ 極力、家に留まっていただきモバイル機器やテレビを見て応援してください
- ☐ 友人と一緒にテレビ観戦する場合も、対面にならず、会話を減らし、マスクをして身体的距離を確保するよう心がけてください

7. 報道関係者・中継制作等の対応

(1) 来場者への事前案内

会場で取材予定の報道関係者には事前に次の点についてご案内をお願いします。チーム広報として来場する方については、チーム広報用 AD を配布するチームが責任を持って管理してください。

- ① 各社必要最低限の来場数とするようご協力をお願いいたします。
- ② Vリーグ機構が指定する健康チェックシートを記入し、来場時に報道関係者受付に提出ください。
- ③ 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えください。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ④ 入場時の検温にご協力ください。体温が 37.5 度以上ある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場できません。
- ⑤ アリーナ内では常にマスクを着用し、身体的距離（2m、最低でも 1m）をとってください。また、指定されたエリアや動線を順守してください。
- ⑥ 手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください。握手や抱擁などは行わないでください。

(2) 会場のゾーニングと動線

- ① 密を避けるため、プレスルームは設けず、アリーナ内の記者席をご案内ください。ただし、テレビカメラとスチールカメラの申請数に応じて、荷物置き用の部屋を設けることを推奨します。
- ② 項番 3 の考え方に則り、ゾーン 1（競技関連）およびゾーン 3 と分離するよう、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

(3) 取材申請手続き

- ① 来場する全ての報道関係者に対し、事前申請を必須とします（公認報道関係者を除き、申請期日と申請方法は運営マニュアルの記載より変更はありません）。ホームチームは、関係者サイトより出力した「取材申請リスト」に、公認報道関係者とチーム広報の情報を追記し、報道関係者受付に設置してください。

報道関係者	申請期日	申請方法
公認報道関係者	大会開催日の 4 日前まで	公認報道関係者申請の際に申告された取材日程を Vリーグ機構で取り纏め、該当するホームチームへ連携する。取材日程の追加を希望する場合は、左記期日までに Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請。
一般報道関係者	大会開催日の 4 日前まで	Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請

5 章 リモートマッチの開催について

チーム広報	大会開催日の 4 日前まで	関係者サイト「遠征計画申請」より申請
-------	---------------	--------------------

- ② 記者席またはカメラマンエリア内で身体的距離（2m、最低でも 1m）を確保できるよう制限を設け、制限数の範囲内で取材を受け付けてください。取材を受け付けられない場合は、運営マニュアルに則り大会開催日の前日までに対象の報道関係者まで連絡してください。
- ③ ペン記者については、記者席の座席を指定し把握できるようにしてください。座席を指定する際には、項番 2「チケット販売の考え方」を参考に、身体的距離を確保できる席割を検討してください。カメラマンについては、(4)-③を参照ください。

(4) 大会当日の対応

① 報道関係者受付

- ☐ 会場での受付開始時刻は、リーグオフィシャルカメラマンを除き試合開始の 60 分前とします。
- ☐ 受付時に検温を行い、体温が 37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は会場での取材活動をお断りしてください。
- ☐ 名刺を置いていただく箱等を用意し、直接的な授受は避けてください。「取材申請リスト」に掲載されている方が、入場の対象となります。名刺を「取材申請リスト」と突合し、チェックしてください。（「報道関係者受付名簿」は使用しません。）
- ☐ AD やビブスは報道関係者側に向けて机の上に置き、自ら取っていただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。
- ☐ 記者席の座席位置と、プレスルームの使用ができないことを案内し、受付完了後に速やかに移動いただくください。

② 記者席

- ☐ 報道用回線（Wi-Fi）と電源を準備することを推奨します。
- ☐ インタビューリクエスト用紙は所定の BOX へ提出いただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。WEB フォーム作成ツール等を利用したオンライン対応を推奨します。

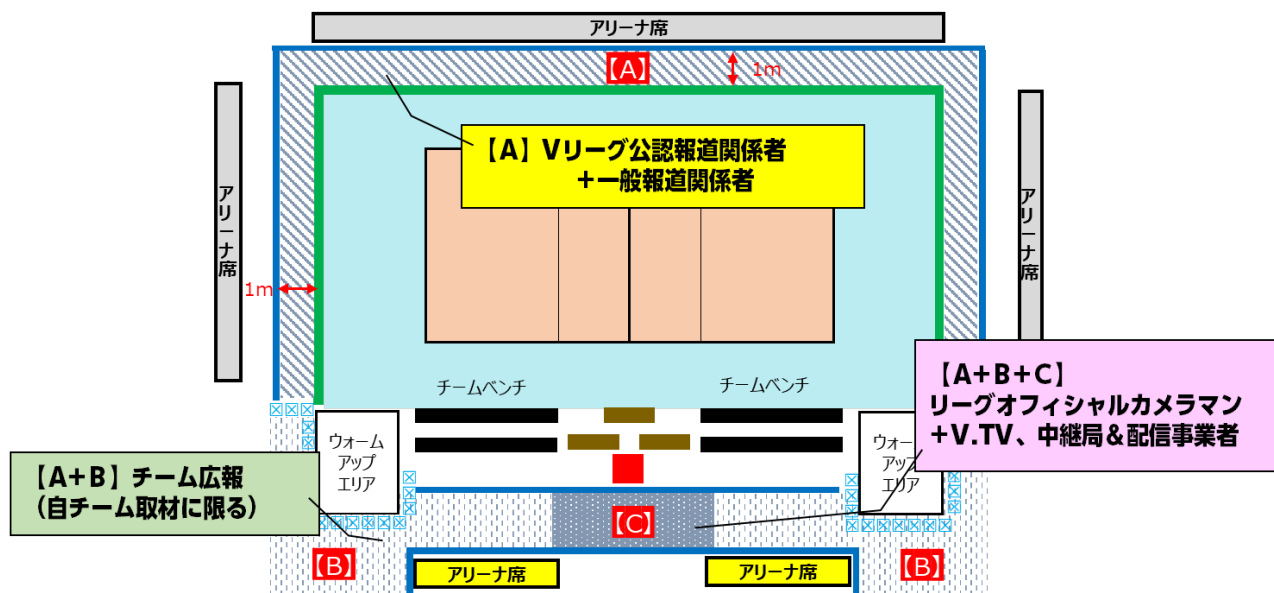
③ カメラマンエリア

TV カメラおよびスチールカメラのエリア区画は下記のとおりとします。【A】～【C】の区分は、関連資料「カメラマン取材可能エリア（アリーナレベル）」と対応しておりますので、本項に記載の無い事項は関連資料を参照ください。

- ✓ 撮影エリアは、ベンチ裏を除く 3 辺（主審側サイドラインと両エンド）とします。各大会の広報担当者は、身体的距離を確保できるよう撮影位置の間隔を指示してください。リーグオフィシャルカメラマンとチーム広報を除き、撮影者（カメラマン）はいかなる場合であっても、副審側サイドラインエリアに立ち入ることを禁止します。
- ✓ 予めカメラマンの位置を指定し、撮影場所を把握できるようにしておくことを推奨します。

5 章 リモートマッチの開催について

- ✓ 試合中の撮影位置の移動は、試合間またはセット間のみ可能とし、その後は禁止してください。
- ✓ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマンによる、副審後方（JURY 席付近）エリアでの撮影については④を参照ください。



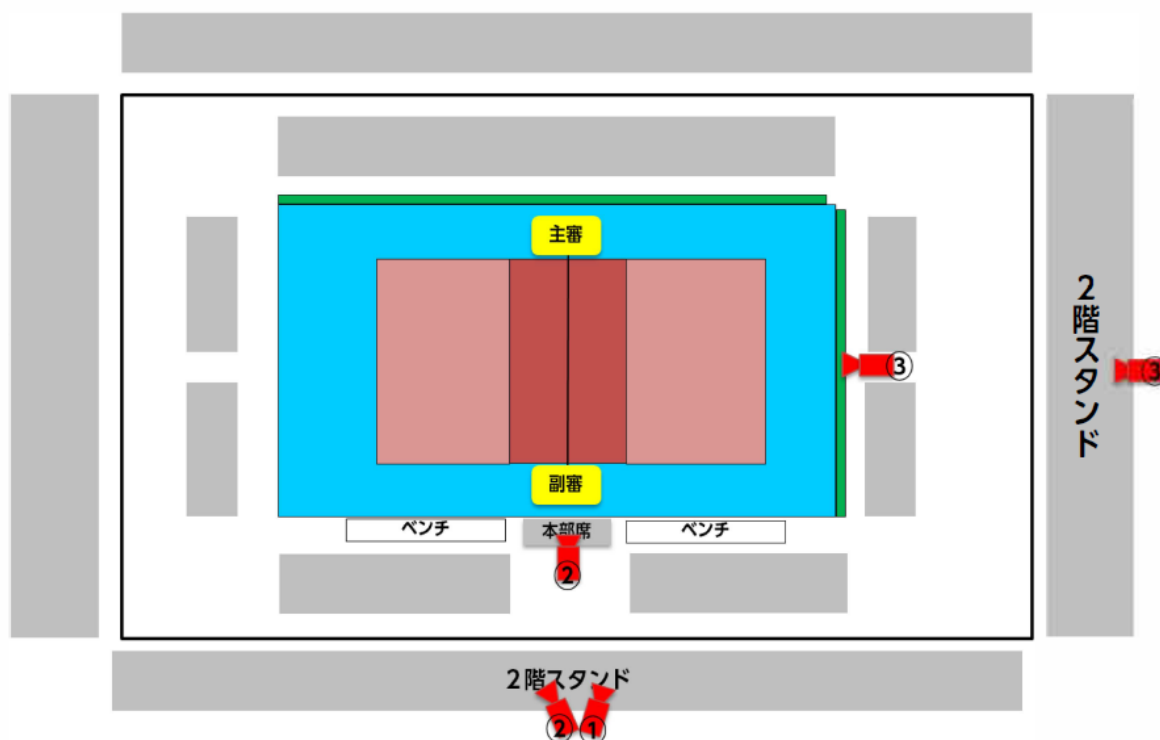
④ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマン

- V.TV 中継スタッフおよび放映権を取得したパートナーは Vリーグ機構が指定する健康チェックシートを記入し、入館時に関係者受付へ提出いただきます。直近 2 週間の体調不良や濃厚接触者の有無等について確認し、該当者がいた場合は該当しないスタッフに対応いただくよう要請してください。
- 会場への入館時に検温を行い、37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場不可としてください。
- 会場内ではマスクの着用を必須とし、手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください
- 会場内では身体的距離（2m、最低でも 1m）を保ち、ゾーン 1 にアクセスする人数を制限する。
- V.TV のカメラ位置は下記のとおりとし、変更がある場合、Vリーグ機構は事前にホームチームへ連絡する。

その他の放映権を取得したパートナーは、事前にホームチームへスタッフ数およびカメラ位置を申請する。ホームチームはパートナーのカメラ位置を把握し、必要に応じて変更要請を行ってください。

5 章 リモートマッチの開催について

■ V.TV 配信時の原則的なカメラ位置



- 原則、被写体から 2m 以上離れて撮影してください。
- 試合前のイベントや入場セレモニーのコート内の撮影については、試合中継局、配信会社、リーグオフィシャルカメラマン、チーム広報のみ撮影を可能としてください。
- 勝利者インタビューは、対象者から 2m 以上離れて撮影してください。インタビュアーも身体的距離を保ち、正対を避け、解説席など離れた位置からの対応を推奨してください。また、選手とインタビュアーのマイクは必ず分け、必要に応じて消毒した上で選手に渡してください。

⑤ 試合終了後

- 記者会見を含む監督および選手への取材は、対面では行わず WEB 方式で対応することを推奨します。対面で行う場合は、下記の点に留意してください。
 - ✓ 換気の良い広い部屋をインタビュールームに割り当て、監督・選手と報道関係者が少なくとも 2m、報道関係者同士が身体的距離（2m、最低でも 1m）を保てるようにしてください。アリーナ上で行うことを推奨します。
 - ✓ 監督・選手がインタビュールームへ移動する際に、一般観戦者や報道関係者と動線が重ならないよう設定（一時的に通路を封鎖する等も可）してください。監督・選手と報道関係者が異なる出入口を使用することを推奨しますが、難しい場合は全ての報道関係者が入室した後で監督・選手が入場し、会見後は監督・選手が先に退室するよう案内してください。
 - ✓ 密が発生することが想定されるエリアでの撮影は自粛してください。
 - ✓ 会見の司会者は、冒頭に参加者に断ったうえで、マスクを着用したまま進行してください。また、参加者にも常にマスクを着用いただくよう周知してください。

5 章 リモートマッチの開催について

- ✓ 監督・選手と報道関係者の間にアクリルボード等の遮蔽物を配置する場合を除き、監督・選手は会見中もマスクを着用してください。司会者は、監督・選手がマスクを着用し対応する旨を冒頭で参加者に断ってください。
- ✓ 会見対象の選手数分のマイクを用意し、選手間でマイクを回さないようにすることを推奨します。監督会見と選手会見の間には、マイクを消毒してください。
- 選手や監督、チームスタッフへのぶら下がり取材は禁止とします。
- すべての報道関係者は、最終試合の会見終了後 1 時間以内に会場を退出いただきます。
- 報道関係者受付で回収した「健康チェックシート」は、大会終了後 2 週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2 週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）してください。チェック済みの「取材申請リスト（コピーでも可）」は V リーグ機構へ送付してください。

(5) 報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等の AD 申請及び事前申請/入館確認方法

前記を踏まえて、報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等の AD 申請及び事前申請/入館確認方法について下記にまとめます。ご対応のほど、お願いいたします。

	AD 種別	事前申請/入館の確認方法	検査実施	健康チェックシート提出先
V.TV 中継スタッフ	V リーグ機構発行 (PARTNER)	関係協力社来場申請 リスト (V リーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局（全国）	自社発行 (自社ロゴ等)	関係協力社来場申請 リスト (V リーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局（ローカル）	ホームチーム発行	ホームチームにて管理	任意	関係者受付
リーグオフィシャル カメラマン	V リーグ機構発行 (OFFICIAL)	派遣通知 (V リーグ機構より送付)	任意	関係者受付
チーム広報	V リーグ機構発行 (TEAM PRESS)	関係者サイト 「遠征計画申請」	任意 (チーム管理)	報道関係者受付
公認報道関係者	V リーグ機構発行 (PRESS)	関係者サイト 「V リーグ関連フォーマット > 9 広報」	任意	報道関係者受付
一般報道関係者	ホームチーム発行	関係者サイト 「取材管理申請」	任意	報道関係者受付

8. 試合会場の設営及び撤去

(1) 設営及び撤去に関わってくださる全事業者に求められる事項

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
 - ✓ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
 - ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ③ 身体的距離（2m、最低でも 1 m）を確保する
- ④ マスクを着用する
- ⑤ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

(2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割

新型コロナウイルス対策責任者は試合会場の設営・撤去が適切に行われているかチェックしてください。

(3) 試合日以外に設営作業を行う場合

- ① 作業開始前に体温を測定し、37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は参加できません。
- ② 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。
 - ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。
- ③ 作業に参加される方も健康チェックシートの新型コロナウイルス対策責任者へのご提出をお願いします。
- ④ 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置してください。
- ⑤ 設営・撤去中は定期的に窓や扉を開けるなど換気を行ってください。

(4) 撤去作業

予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。

- ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。

(5) ゴミなどの廃棄について

- ① 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってください。
- ② ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。

6章 別紙資料・参考資料

◆ 大会参加者向け健康チェックシート（提出用）

※関係者サイトにアップロードしています



提出日： 年 月 日
会場名：【 】

健康チェックシート（提出用）

本健康チェックシートは、2021-22 V.LEAGUEを開催するにあたり新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ、報道関係者、その他の健康状態を確認することを目的としています。
本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、Vリーグ機構及びホームチームは、厳正なる管理のもとに保管し、関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

<基本情報>

チーム名 又は 所 属		代表者 連絡先	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		電話番号	
		Eメール アドレス	

※チーム関係者はチームの代表電話番号・Eメールアドレスで構いません

<大会当日の体温>

日付	起床時体温
/ ()	℃

<大会前 2 週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱はありません	
② 咳（せき）、のどの痛み等の風邪症状はありません	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）はありません	
④ 臭覚や味覚の異常はありません	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状はありません	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はありません	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はありません	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触はありません	
⑨ 本日から2日以内に②～⑤の症状が発生または⑥～⑧の事項が発生した場合には速やかにホームチームに報告します	
⑩ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、Vリーグ機構及びホームチームの定めた取り決めに従います	
⑪ その他、気になること（以下に自由記述）	

対策責任者確認欄



6章 別紙資料・参考資料

◆ 大会参加者向け健康チェックシート（自己管理用）

※関係者サイトにアップロードしています

健康チェックシート（自己管理用）

一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

- 大会に参加を希望している人は自身の体調チェックを毎日実施してください
- 毎朝、体温測定と症状（のどの痛み・咳・倦怠感・頭痛・食欲低下など）のチェックをお願いします。
- もし気になる症状が現れたときには、速やかに最寄りの病院、保健所・帰国者・接触者電話相談センターへご連絡ください。
- 大会・講習会等に参加する場合、主催者の求めに応じて、この体調チェックシートを基に「提出用シート」に記載をし提出ください。

平熱				℃				味覚・嗅覚異常		行動記録
NO	月日	曜日	起床時体温	体調確認（のどの痛み・咳・倦怠感・頭痛・食欲低下等）	なし	あり（ありの場合は具体的に）	なし	あり（ありの場合は具体的に）		
例	6月1日	月	36.5	○	のどの痛み	○			感染者との濃厚接触 海外・県外等への移動 等	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
平均（自動計算⇒）				平熱の参考としてください						

6章 別紙資料・参考資料

◆ 関係協力社来場申請リスト

※関係者サイトにアップロードしています



2021-22 V.LEAGUE 関係協力社 来場申請リスト

- ① 2021-22 V.LEAGUE開催にあたっては新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催いたします。
- ② 各会場においては、全ての来場者をリスト化し、アリーナ到着時間と退館時間の管理を行います。
- ③ つきましては、関係協力社の皆さまには、事前に各日程の会場到着時間を事前にご教示いただきたいと思います。
- ④ 下記に必要事項をご記入の上、大会開催日の10日前までにVリーグ機構事務局までメールにてお送りください。
(会場ごとに提出をお願いします)
- ⑤ ファイル名の【】内に対象カテゴリー・性別・大会名の記載をお願いします。
- ⑥ ファイル名の()内に貴社名の記載をお願いします。
例) 【V1男子堺大会】関係協力社来場者リスト(Vリーグ)
- ⑦ ファイルはPDF化せず、エクセルのままで送付をお願いします。
- ⑧ 変更が生じた場合は、ファイル名の頭文字に丸数字をお願いします。変更点は赤字で記載いただけますと幸いです。
例) ②【V1男子堺大会】関係協力社来場者リスト(Vリーグ)

【送付先】 league_operation@vleague.or.jp / haikyudo@vmarketing.jp

会社名		
代表者氏名		
代表者連絡先	電話番号：	E-mail:
カテゴリー	V1男子 ・ V1女子 ・ V2男子 ・ V2女子 ・ V3男子	
会場名		

来場日	No.	来場者氏名	到着予定時間	No.	来場者氏名	到着予定時間
年 月 日 (準備日)	①		:	⑥		:
	②		:	⑦		:
	③		:	⑧		:
	④		:	⑨		:
	⑤		:	⑩		:

来場日	No.	来場者氏名	到着予定時間	No.	来場者氏名	到着予定時間
年 月 日 (試合日)	①		:	⑥		:
	②		:	⑦		:
	③		:	⑧		:
	④		:	⑨		:
	⑤		:	⑩		:

来場日	No.	来場者氏名	到着予定時間	No.	来場者氏名	到着予定時間
年 月 日 (試合日)	①		:	⑥		:
	②		:	⑦		:
	③		:	⑧		:
	④		:	⑨		:
	⑤		:	⑩		:



◆ 来場者管理シート

※関係者サイトにアップロードしています

2021-22 V.LEAGUE 来場者管理シート

■ 日程： 年 月 日

■ カテゴリー： 選択してください

■ 新型コロナウイルス対策責任者氏名： 選択してください

■ 会場名： 選択してください

用



No.	氏名	所属	到着予定時間	到着時間	退館時間	検温	健康チェックシート
例	ヴィーダ太郎	ヴィーダ機構	8:30	8:25	18:19	✓	✓
1			:	:	:		
2			:	:	:		
3			:	:	:		
4			:	:	:		
5			:	:	:		
6			:	:	:		
7			:	:	:		
8			:	:	:		
9			:	:	:		
10			:	:	:		
11			:	:	:		
12			:	:	:		
13			:	:	:		
14			:	:	:		
15			:	:	:		
16			:	:	:		
17			:	:	:		
18			:	:	:		
19			:	:	:		
20			:	:	:		
21			:	:	:		
22			:	:	:		
23			:	:	:		
24			:	:	:		
25			:	:	:		
26			:	:	:		
27			:	:	:		
28			:	:	:		

No.	氏名	所属	到着予定時間	到着時間	退館時間	検温	健康チェックシート
29			:	:	:		
30			:	:	:		
31			:	:	:		
32			:	:	:		
33			:	:	:		
34			:	:	:		
35			:	:	:		
36			:	:	:		
37			:	:	:		
38			:	:	:		
39			:	:	:		
40			:	:	:		
41			:	:	:		
42			:	:	:		
43			:	:	:		
44			:	:	:		
45			:	:	:		
46			:	:	:		
47			:	:	:		
48			:	:	:		
49			:	:	:		
50			:	:	:		
51			:	:	:		
52			:	:	:		
53			:	:	:		
54			:	:	:		
55			:	:	:		
56			:	:	:		
57			:	:	:		



更新履歴

【初版（2020.08.07 更新）】

【第2版（2020.08.17 更新）】

【第3版（2020.08.25 更新）】

- 調整中としていた「急遽、JVIMS 担当者が不在となった場合」の対応を追記
- 調整中としていた「DAZN 配信時の原則的なカメラ位置」の対応を追記

【第4版（2020.08.28 更新）】

- 運営会議での指摘を受け、「連携医療機関」に関わる記述を修正

【第5版（2020.09.01 更新）】

- 「試合観戦者から発生した際の方針」を加筆

【第6版（2020.10.02 更新）】

- 「非感染検査の受診について」Vリーグ機構が指定する PCR 検査の結果に基づき求められる対応についてを加筆
- 「保健所及び医療機関と連絡が取れないタイミングでの疑い症状への対応について」を追加
- 「内閣官房コロナ室通達に基づく 2020 年 11 月までの収容率緩和に関して」を追加
- 「関係協力社来場者リスト」のフォーマットに関する記述を追加
- 「ボールリトリバーの手袋や消毒液の準備や設置」に関する記述を追加
- 「勝利者インタビューの実施方法に関する記述」を追加
- 報道関係者の「健康チェックシート独自様式を認める」旨の記述を削除
- 「公認報道関係者」の申請期日を「4 日前」から「1 日前」に変更
- 報道関係者のアリーナ退出時間を「試合終了後 1 時間以内」を「会見終了後 1 時間以内」に変更
- 「報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等の AD 申請及び事前申請/入館確認方法」についてを追加
- 別紙資料として、「健康チェックシート」、「関係協力社来場申請リスト」、「来場者管理シート」のフォーマットを掲載

【第7版（2020.10.06 更新）】

- 「保健所及び医療機関と連絡が取れないタイミングでの疑い症状への対応について」の濃厚接触疑いの基準を一部修正
- 中継スタッフの健康チェックシートの提出及び内容確認について、「事前に Vリーグ機構が行う」のではなく、「会場入口にて大会スタッフ」が行う旨に修正
- 意図が正しく伝わる様、表現の加筆修正を行った

【第8版（2020.11.12 更新）】

スポーツ庁及び内閣官房コロナ室からの指摘により、内容の大幅改定を行った。

- 「感染リスクが高まる環境・状況」について代表的な事例を更新した
- 「社会的距離（ソーシャルディスタンス）」を「身体的距離（フィジカルディスタンス）」との表現に変更
- また身体的距離を「2m(最低 1 m)」という表現で統一
- 体調不良者の閾値について、従来、体温が 37.5 度以上としてきたが、これに「37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む」旨を加筆
- チームの宿泊時の食事会場での予防策について「食事中も可能な限りマスクを着用する」旨を加筆
- Vリーグ機構メディカル委員会の決定を受け、PCR 検査実施後の対応について修正
- お客様 1 人当たりのチケット購入枚数の上限を「1 枚」→「5 枚」に変更を行った。その際の注意事項を備考欄に加筆した。
- 「席種ごとに入場・退場可能時間を変更すること等により待機列の解消に努める」旨を従来の推奨事項から必須事項に変更した。
- 「2020 年 11 月末までの収容率暫定緩和措置」を受けるための留意事項を修正した。
- 暫定緩和措置を受けた際の席割案を一部、変更した。
- 会場運営について「密集が発生しやすい場所は待機位置をマークする等、特に注意する」旨、「マスクを着用しないお客様には着用を促す」旨を追記
- アリーナへの入場するお客様に、接触確認アプリの利用促進についての文言を追記
- お客様のスタンドでの飲食について、ガイドラインに反するお客様に対しては注意を行う旨と、お客様の手指消毒マスク着用などを促すアナウンスを行う旨を加筆。
- お客様向け新型コロナウイルス対策案内を行うVリーグ機構のホームページ URL を掲載
- 応援スタイルについて、ガイドライン違反者に対して個別注意を行う旨を加筆
- ガイドライン遵守の旨の公表について加筆
- 第 4 章に「⑩大会前後の行動管理について」の項目を加筆

【第9版（2021.02.09 更新）】

スポーツ庁及び内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の指摘により内容の大幅改定を行った。

- 「感染リスクが高まる 5 つの場面」を更新した
- 2021 年 1 月 7 日の緊急事態宣言の発令に伴う今後の大会開催方針を加筆した
- 施設の空調について「乾燥する場面では、湿度 40%以上を目安に加筆することを推奨する」旨と、「二酸化炭素濃度 1000ppm 以下を維持することが望ましい」旨を追記
- マスク・手袋着用後の手洗いの実施についての文言を追記
- ユニフォーム及び衣類の洗濯についてを追記
- ゴミなどの廃棄に関する文言を追記
- 新型コロナウイルス対策に関する規程第 10 条の改定に伴い、規程改定部分を修正
- 「入場制限付き開催の考え方」について、未回収避不可の会場は集客人数のさらなる制限の検討を求める旨の文言を追記

更新履歴

- 2020 年 11 月末までの入場者制限の例外適用について 2021 年 2 月末まで延長になった旨を追記
- COCOA の使用に関して、携帯電話使用制限下での使用上の注意について追記
- お客様のアリーナでの過度な飲酒を控えるよう案内する旨を追記
- お客様の飲食に関する例外対応を掲載
- 非接触決済の導入についての文言を掲載

【第 10 版（2021.07.28 更新）】

2021-22 シーズンに向け、チケット販売に関する内容のみ先んじて改定を行った。

- 2021-22 V.LEAGUE における観客席設置ルールを追記
- 観客席設置ルールの変更に伴い、ウォームアップエリアの設置基準を変更
- チケット販売の考え方のうち「チケットは 1 興行ごとに販売すること」「シーズンチケットは販売しないこと」を必須事項から推奨事項に変更した

【第 11 版（2021.09.10 更新）】

2021-22 シーズンに向け、大幅な内容の見直しを行った。以下に主な改定ポイントを記載。

- 接触感染のリスクを精査し、過度な環境表面の消毒よりも「正しいマスクの正しい着用」と「適切な手指衛生」による感染対策を強化
- デルタ変異株の感染拡大状況を考慮し、濃厚接触の定義を見直した
- 検査体制の変更および試合直前に疑い症状が発生した場合の対応の変更

【第 12 版（2021.10.04 更新）】

- 新型コロナウイルス対策に関する規程の改定に伴う内容の更新（3 章-5）
- チーム関係者のバス移動に関して、「大声や長時間の会話を控える」旨を追記（3 章-1）
- イベント開催制限に関する参考資料の差し替え（2 章）